

消費者教育授業 実践事例集Ⅲ

—消費者教育の視点を持った授業展開—

平成24年3月



平成23年度 柏市消費者教育推進連絡会

「自立した消費者」を育成する消費者教育の推進

柏市教育研究所

所長 佐藤 進

近年、経済の仕組みの変化や規制緩和の流れの中で、消費者トラブルは多発し、その内容も複雑化、高度化しており、消費者教育の重要性は高まっています。その中で、自らの利益の擁護及び増進のために、消費者の権利を実現するように努め、自ら進んで消費生活に関して必要な知識を修得し、必要な情報を収集するなど、自主的かつ合理的に行動するように努める消費者、すなわち「自立した消費者」の育成を目指すことが消費者教育の理念です。

柏市では、平成4年度から実施された「文部省学習指導要領」に消費者教育が盛り込まれたことから、平成3年度に消費者教育推進連絡会が組織されました。消費生活センターと教育委員会、そして各学校が連携協力し三位一体となって、消費者教育の推進を図ってまいりました。このような連絡会を設置している市町村は、文部科学省ホームページ「消費者教育における国内の取組状況調査」によると、国全体ではまだ1%にも達していないとのことです。

柏市の消費者教育の中で、消費生活センターによる出前授業「子ども消費者教室」の開催は各学校で好評を得ています。また、その授業で使用される教材として、消費生活センターで作成したオリジナルのお小遣い帳「マナブーのマナーノート」が、財団法人消費者支援センター主催の第4回消費者教育教材資料表彰印刷資料部門において、優秀賞を受賞したことや各学校における消費者教育の実践が高く評価され、今年1月に開催された文部科学省主催の「消費者教育フェスタ」では柏市の消費者教育の取組が全国に紹介されました。

本実践事例集は、小中高の先生で構成される消費者教育推進委員による、様々な教科や総合的な学習の時間を活用した授業実践を取りまとめ、消費者教育の事例を示したものになっております。

各学校におかれましては、学習指導要領が改訂となり、授業時間及び指導内容の増加とそれに伴う総合的な学習の時間の減少という厳しい状況下にあります。この実践事例集を参考にし、消費者教育についての理解を深め、創意工夫によって取組の輪が、更に市内に広がっていくことを期待いたします。

学校における消費者教育の推進について

柏市消費生活センター

所長 小野寺 一 男

国においては、平成 21 年 9 月、消費者行政の一元化を図るために「消費者庁」が設立され、消費者教育・啓発の一層の充実・強化が求められています。しかし、悪質商法といわれる消費者犯罪は、常に手口・商品を替えて発生しており、最近では、社会経済の変化によりインターネットや携帯電話での犯罪、また巧妙化した振り込め詐欺などが多発しています。被害未然防止のためには市民一人一人が悪質商法に巻き込まれない生活術を身に付けた「自立した賢い消費者」になることが、最も重要です。そのためには、学校や家庭・地域との連携は不可欠であり、様々な場面で消費者教育を実施することが必要です。

柏市消費生活センターでは、安全安心な市民生活を守るため、あらゆる分野で消費者教育に努めております。消費者教育においては、消費者としての意識を修得し消費者被害の未然防止を図るだけでなく、責任ある社会の一員となることも求められています。

学校では、新学習指導要領により消費者教育の推進が図られていますが、「消費者教育」が具体的に定義されていないため、共通認識となりにくいようです。そのような中で、本市の特筆すべきところは、学校・教育委員会及び行政で構成する柏市消費者教育推進連絡会が中心となり、学校現場での消費者教育を支援している点であり、文部科学省からも先進的な取り組みとして高い評価を得ています。

これからも、学校、教育委員会、行政の連携強化を図り、学校現場の声をしっかりと受け止め、社会の変化に対応した事業の構築に努めてまいりたいと考えております。また、学校で効果的に活用できる教材資料の作成にも取り組んでまいります。

この冊子は、柏市消費者教育推進連絡会委員による消費者教育授業の実践事例をまとめたものです。ご活用いただければ幸いです。

最後に、これまでの二年間当連絡会委員として、ご理解ご協力いただきました各先生方に、厚くお礼を申し上げます。

平成23年度柏市消費者教育推進連絡会委員

座長	佐藤 進	柏市教育委員会	教育研究所長
	岩田 久美	柏市教育委員会	指導課指導主事
	中村 智子	柏市立柏第一小学校	教諭
	田中 竜一	柏市立柏第三小学校	教諭
	東條 正興	柏市立田中北小学校	教諭
	人見よし子	柏市立西原小学校	教諭
	竹内 美紀	柏市立逆井小学校	教諭
	永井久美子	柏市立豊小学校	教諭
	川成 重隆	柏市立風早北部小学校	教諭
	高橋 陽基	柏市立田中中学校	教諭
	直井 一士	柏市立松葉中学校	教諭
	春日 及子	柏市立柏高等学校	教諭
	布施 裕人	学校法人柏日体高等学校	教諭
事務局	小野寺一男	柏市消費生活センター	所長
	遠藤 芳則	同	主幹
	中村 公彦	同	副主幹
	末廣 悠子	同	主事
	小板橋ひろみ	同	消費者教育相談員

目 次

第一章 学校における消費者教育の推進について

- 1 消費者教育を取り巻く環境・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 2 柏市消費者教育推進連絡会の取り組み・・・・・・・・ 1

[資料]

「消費者教育の体系シート

ーライフステージに応じた領域別目標ー」

第二章 消費者教育の視点を持った授業展開

1 小学校での実践

- 家庭「じょうずに使おう物やお金」・・・・・・・・ 3
柏市立柏第一小学校 第5学年
中村智子 教諭
- 国語「しょうかいのポスターを作ろう」・・・・・・・・ 11
柏市立柏第三小学校 第5学年
田中竜一 教諭
- 総合「お金の役割ってなんだろう」・・・・・・・・ 16
柏市立田中北小学校 第5学年
東條正興 教諭
- 総合「買い物名人になろう」・・・・・・・・ 26
柏市立逆井小学校 第4学年
竹内美紀 教諭
- 家庭「お菓子のパッケージを作ろう」・・・・・・・・ 31
柏市豊小学校 第6学年
永井久美子 教諭
- 総合・社会科「私たちにできることⅢ 東日本大震災から
学ぶ（消費税について）」・・・・・・・・ 37
柏市風早北部小学校 第6学年
川成重隆 教諭

2 中学校での実践

○進路指導「職業について考えよう

私たちの生活と職業」・・・45

柏市立田中中学校 第2学年

高橋陽基 教諭

○数学「2乗に比例する関数／金利を考える」

実践プラン・・・53

柏市立松葉中学校 第3学年

直井一士 教諭

3 高等学校での実践

○家庭科「自立して生きる

一人暮らしの住まい選び」・・・59

柏市立柏高等学校 第2学年

春日及子 教諭

○情報C「情報化社会を築く／情報化の光と影」・・・62

学校法人柏日体高等学校 第1学年

布施裕人 教諭

第三章 消費生活センター「子ども消費者教室」

1	子ども消費者教室ちらし	69
2	金銭教育プログラム	
	低学年	71
	中学年	72
	高学年	73
3	中学校向けプログラム	74
4	平成22年度「子ども消費者教室」実績	75
5	平成23年度「子ども消費者教室」実績	76

第一章 学校における消費者教育の推進について

1 消費者教育を取り巻く環境

平成16年6月に、消費者利益の擁護及び増進を目的に、消費者教育を受ける権利を消費者の基本的権利として位置づけた「消費者基本法」が制定されました。同法17条では学校、地域、家庭、職域その他の様々な場を通じて消費者教育を充実させることを国の責務としており、国は、消費者教育の概念を明確化するために「消費者教育体系シート」を公表しました（資料1「消費者教育の体系シート」参照）。

その後、国民の消費者問題への関心の高まりを受け、平成21年9月に消費者庁と消費者委員会が設置されるなど、消費者利益の擁護・増進を図る上で必要な環境の整備が進んできています。

そのような中で、平成22年3月に、平成22年度から26年度までの5年を計画期間とした新たな「消費者基本計画」が閣議決定され、消費者教育の検討機関として、消費者庁に「消費者教育推進会議」が、文部科学省に「消費者教育推進委員会」が設置されました。さらに平成23年3月には、文部科学省より「大学等及び社会教育における消費者教育の指針」が公表されるなど、消費者教育を取り巻く環境が大きく動き出しています。

また、平成23年度から25年度にかけて、小、中、高等学校において順次完全実施となる「新学習指導要領」では、新しい時代に対応した教育の充実ということで、消費者教育についても消費者の基本的な権利と責任についての理解に関する学習を充実させるなど、内容の改善が図られています。

2 柏市消費者教育推進連絡会の取り組み

近年、食の安全・安心の問題や環境問題、悪質商法による被害や多重債務の問題など、消費生活に関する問題が複雑化・多様化しています。また、インターネットや携帯電話などの情報通信技術の発達に伴い、若い世代が被害者または加害者となり、消費者トラブルに巻き込まれるといった事例も少なくありません。

このような状況下においては、将来社会の担い手となる子どもたちの消費者意識を高め自立した賢い消費者となるために、主体性・自主性・責任性・創造性を形成することが重要な課題となります。

柏市ではこの課題を解決すべく、さまざまな消費者教育事業を実施していますが、その核となるのが平成3年度に設置された「柏市消費者教育推

進連絡会」です。

本連絡会は、教育委員会職員及び小・中・高等学校の教員で構成され、学校における消費者教育の支援・推進を図っています。

主な活動としては、消費者教育の理解を深めるため、教員を対象とした研修や情報提供などによる学校支援を行ってきました。加えて平成19年度から、さらなる消費者教育の推進を図るため、各委員による消費者教育の視点を持った授業実践を行っています。

この実践を通して、日常生活を取り巻く多種多様な課題そのものが、消費者教育の教材となりうることがわかりました。また、それぞれの学校において、先生方が消費者教育の視点を持った授業展開を行うことにより、「自立した消費者」の育成に効果があると考えています。

この実践を、今後の消費者教育事業の展開における基礎資料となるよう、本書「実践事例集」にまとめ、今回の発行が第三巻となりました。本書が各教育機関等で有効活用されることを望むとともに、柏市消費者教育連絡会では、今後ともさらなる消費者教育の推進が図れるよう取り組んでいきたいと考えています。

消費者教育の体系シート - ライフステージに応じた領域別目標 -

◆消費者教育の理念：「自立した消費者」をめざして

目標①：消費生活に関して、自ら進んで必要な知識を修得し、必要な情報を収集する等自主的かつ合理的に行動できる消費者の育成と支援

目標②：消費生活に関して、環境の保全及び知的財産権等の適正な保護に配慮する消費者の育成と支援

領域別の目標	安全	契約・取引	情報	環境
ライフステージ	<p>① 商品(食品を含む)の安全性等に関する情報を確認し、生命・健康への影響に配慮して、商品を選択・利用できる。</p> <p>② 商品による事故・危害に適切な対処ができる。</p> <p>③ 安全に暮らせる社会を目指し、消費者の安全を確保するために協力して取り組むことができる。</p>	<p>① 自己の必要性を満たすために、適切に判断し、合理的な選択ができる。</p> <p>② 家計を適切に管理し、合理的な生活設計やお金の使い方ができる。</p> <p>③ 契約の意味・内容や契約上の権利と義務を理解し、契約を誠実に履行できる。</p> <p>④トラブルにあったときに適切な対処ができるとともに、安心して契約・取引ができる社会を目指し、協力して必要な取り組みができる。</p>	<p>① 情報通信を消費生活の向上に役立てることができる。</p> <p>② 個人情報適切に管理し、自他の権利や利益に配慮して情報通信を適切に活用できる。</p> <p>③ 知的財産権に配慮して、他人の創作物などを利用できる。</p>	<p>① 商品の購入段階において、商品の環境に関する情報を確認し、環境への影響に配慮した商品を選択できる。</p> <p>② 商品の使用・廃棄段階において、物を大切にするとともに、消費生活が環境に及ぼす影響を認識し、適切な対処ができる。</p> <p>③ 持続可能な社会を目指し、消費生活に関わる環境保全の取り組みに協力して取り組むことができる。</p>
幼児期	<p>①安全な物を選んで正しく使えるように、身近な人に聞くことができる。</p> <p>②身近な人に怪我や痛みを伝えることができる。</p>	<p>①欲しい物を手に入れたり、やりたいことをするとき、よく考えることができる。</p> <p>②先の事も考えてがまんをすることができる。</p> <p>③約束や決まり事を守る習慣が身につく。</p> <p>④身の回りの物に関する不安や心配ごとを身近な人に伝えることができる。</p>	<p>②知らない人には自分や家族の情報を話さないようにすることができる。</p> <p>③自分や友人の作品を大切にすることができる。</p>	<p>①身近な人に環境マークなど環境に関する情報を聞くことができる。</p> <p>②身近にあるものの使い方や捨て方について、身近な人から教わったり聞いたりすることができる。</p> <p>③保護者と一緒に環境保全に関わる地域の活動などに参加できる。</p>
児童期(小学生)	<p>①商品を安全に扱うための基本的なきまりを守ることができる。</p> <p>また、身の回りの商品の安全に関するマークや品質表示に気づくことができる。</p> <p>②身の回りの商品の被害を身近な人に説明できる。</p>	<p>①身の回りの商品を買うときに、必要性を考えた上で、価格や品質を比較することができる。</p> <p>②小遣いを家族と相談して計画的に使うことができる。</p> <p>③約束や社会のきまりを守るすることができる。</p> <p>④身の回りの商品の購入で不安になったときは、身近な人に説明し、解決方法を相談できる。</p>	<p>①情報の収集などの際に情報通信を適切に活用できる。</p> <p>②情報通信を活用する際に、自分や身近な人の情報を大切にすることなどの配慮ができる。</p> <p>③独創性や人のアイディアを尊重することができる。</p>	<p>①身の回りの商品に、環境に関するマークなどに気づくことができる。</p> <p>②自分の消費生活が環境に影響を及ぼすことに気づき、身の回りの商品の使用・廃棄について適切な対処ができる。</p> <p>③身の回りを取り組まれている環境保全活動の方法を話し合ったり、参加したりすることができる。</p>
少年期(中学・高校生)	<p>①日用品のマークや品質表示などの意味を理解して、集めた情報の中から、安全な商品を選び適切な取り扱いができる。</p> <p>②日用品の商品による事故・危害に応じた相談機関を利用できる。</p> <p>③商品の安全性、消費者の安全を確保するための取り組みを知り、法律や制度に関心をもつことができる。</p>	<p>①日用品の商品を買うときに、必要性や価格・品質などを比較検討して選択できる。</p> <p>②家計や将来の生活を考え、買い物の購入計画を立てたり、貯蓄などを有効に活用できる。</p> <p>③契約の意味と基本的なルールや仕組み(契約当事者としての権利と義務等)を理解し、適切な消費行動ができる。</p> <p>④契約・取引のトラブルに合ったときに、消費者のための法律・制度を活用したり、身近な人や相談機関に相談することができる。</p>	<p>①情報通信の利便性を理解し、情報の収集・発信の際に情報通信を適切に活用できる。</p> <p>②情報の収集・発信の際に起こる問題や解決方法を理解して、個人情報を適切に管理し、自他の権利や利益に配慮して情報通信を適切に活用できる。</p> <p>③作品や商品には知的財産権があり、法律で保護されていることを理解し、知的財産権に配慮して他人の創作物などを利用できる。</p>	<p>①日用品のマークや品質表示などの意味を理解し、環境に配慮した商品を選ぶことができる。</p> <p>②消費生活が環境に及ぼす影響を理解し、日用品の使用・廃棄について適切な対処ができる。</p> <p>③国内や国際的・地球規模の環境問題と消費生活との関連に関心をもち、それらに関わる環境保全活動に参加・協力できる。</p>
成人期	<p>①日常および社会生活の中で利用する商品の安全性に関する情報を集めることにより、安全な商品を選んで使うことができる。</p> <p>②商品の欠陥等で事故・危害があったときに、被害救済の制度・機関を活用できる。</p> <p>③安全な商品が提供されるように社会に働きかけていくことができる。</p>	<p>①自己の必要性や所得を考慮し、選択肢の費用と効果を検討して選択することができる。</p> <p>②家計の支払い能力や将来の生活を考え、貯蓄や保険、クレジット(ローン)を適切に活用することができる。また、リスクとリターンを考慮して金融商品を選ぶことができる。</p> <p>③契約の意味と基本的なルールや法律・制度等(契約当事者としての権利と義務等)を理解し、契約の内容を十分確認した上で契約ができることと、安心して契約・取引ができる社会を目指し協力して必要な取り組みができる。</p> <p>④契約・取引のトラブルが生じたときに、消費者のための法律・制度を活用したり、相談機関に相談することができる。また、安心して契約・取引し協力して必要な取り組みができる。</p>	<p>①情報通信の利便性を広く日常生活のなかで理解し、情報の収集・発信、商品の購入、契約・取引の際に情報通信を適切に活用できる。</p> <p>②個人情報の流出による被害や社会的責任を自覚し、個人情報を適切に管理するとともに、情報の収集・発信の際に起こる問題や解決方法を理解し、自他の権利や利益に配慮して情報通信が活用できるように社会に働きかけていくことができる。</p> <p>③知的財産権を守った商品を購入することにより、正規商品の提供者を支持し、不正商品を市場から排除する取り組みに協力できる。</p>	<p>①日常および社会生活の中で利用する商品のマークや品質表示などを理解し、環境に配慮した商品を選ぶことができる。</p> <p>②日常及び社会生活の中で利用する物について、使用・廃棄について適切な対処ができる。</p> <p>③次世代へのつながりを考慮し、環境問題に対する社会的な取り組みとしての活動に参加・協力できる。</p>
高齢期	<p>①心身の状況に応じて、安全な商品を選んで使うことができる。</p> <p>②商品による事故・危害を身近な人に相談できる。</p> <p>③心身の状況に配慮した安全な商品を提供する取り組みに協力できる。</p>	<p>①自己の判断・選択で不安に備えて、身近な人の協力が得られるようにしておくことができる。</p> <p>②自らの年金や資産の状況を把握して、家計運営に活かすことができる。</p> <p>③契約する際に、契約の内容をよく確認した上で契約することができる。</p> <p>④契約・取引で心配や不安があるときに、身近な人に相談したり、高齢者支援のための制度や組織を利用できる。</p>	<p>①心身の状況に応じて、情報通信を活用して商品の購入等ができる。</p> <p>②心身の状況に応じて、個人情報を守り、自他の権利や利益に配慮して情報通信を適切に活用できる。</p> <p>③これまでの経験・知恵を知的財産として活かすことができる。</p>	<p>①環境に関する新たなマークや表示等に関心をもち、商品の選択に活用することができる。</p> <p>②商品の使用・廃棄段階に関わり環境への影響に配慮して新しく制定された社会的なルールなどを理解し、商品の使用・廃棄について適切な対処ができる。</p> <p>③環境保全に関する生活上の知恵や工夫を次世代に伝えることができる。</p>

【備考】 (1) 本体系シートは、消費者教育の全体像、体系的関係が見通せるように、対象領域ごとのライフステージに応じた消費者教育の目標を示したものです。
 (2) 消費者教育では、消費生活に関わる実践力を身につける必要があることから、「～できる」といった実践的な目標を掲げています。
 (3) ライフステージに応じて、「身の回りの商品」「日用品」「日常および社会生活の中で利用する商品」などとしているのは、消費者としての発達、消費生活で接する商品の広がりや踏まえて表現したものです。
 (4) 高齢期を四角で囲っているのは、社会人期の中でも特に高齢者に対して設けた目標を示しているためです。

第二章 消費者教育の視点を持った授業展開

1 小学校での実践

単 元 名	じょうずに使おう 物やお金	
実 施 校	柏 市 立 柏 第 一 小 学 校	
学 年 / 教 科 等	第 5 学 年	家 庭 科
指 導 者	中 村 智 子	
総 授 業 数	4 時 間	

1. 単元について

(1) 設定の理由

この題材では、物やお金の使い方を児童が自分の生活体験からふり返り、工夫して買い物ができるようになることが目的である。学習に使う物や遊びに使う物など、身近な物から取り上げ、自分や家族の生活と結びつけて考えさせることにより、実践できるようになることが大切である。購入する際には計画的にお金を使うことや、必要な情報を集め判断することを意識させたい。毎年6年生で行われていたこの単元であるが、今年度の教科書から5年生で指導する教材となったので、ぜひとも取り上げてみたいと考えた。

(2) 目標

- ・物や金銭の使い方に関心をもち、適切に買い物をしようとする。
- ・目的に合った、物の選び方や買い方ができる。

2. 指導計画 (4時間計画)

第1次 物やお金の使い方を見直そう・・・2時間(本時では1/2の導入)

第2次 買い物のしかたを考えよう・・・2時間

3. 本時(1/4)

(1) 目標

- ・物やお金の大切さに気づき、その使い方に関心をもつ。

(2) 消費者教育の視点

物やお金を無駄なく使うことは、時間や労力の節約となるだけでなく、資源の有効活用にもつながる。持ち物の多くは買い物によって入手しており、消費者として様々な物やサービスを購入して活用していることに気づかせたい。

収入は家族が得たものである。生活のいろいろな場面でお金を使っていることに気づき、高額な物は貯蓄によって購入するなど、大切に使うという意識をもたせたい。

(3) 展開

時配 (分)	指導内容・学習活動	指導上の留意点 (■消費者教育の視点・◎評価)	備考
20	<p>1 自分の買い物をふり返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・買い物をして失敗したことをあげてみる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分や家族の体験をもとに話し合いをする。 ・購入した物が、現在どのようになっているかふり返させる。 ■ お金や物のむだづかいに気づかせる。 	
15	<p>2 収入について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんなことにお金を使っているのだろうか。 (生活用品 食料 光熱費 交際費等) ・お金はどこからくるのだろうか。 ・「収入－貯蓄＝支出」を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭ではどんなことにお金を使っているのかを考えさせる。 ■目に見える物ばかりでなく、光熱費など見えないものの消費にも目を向けさせる。 ・生活のために家族が働いて収入を得ていることに気づかせる。 ◎ 生活の中でのお金の使われ方に関心をもっているか。 	
10	<p>3 これからの生活について考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>欲しい物があるときは、どうしたらよいだろう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・次時では本時で学習したことを生かして、欲しい物があるときの行動について学習することを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時は2時間扱いの導入なので、次時につなげられるようにする。 ■自分達の生活に必要なものは、多くの人々の労力や限りある資源を使ってつくられていることを知り、これからの行動に生かしていけるようにもっていく。 	

じょうずに使おう物やお金

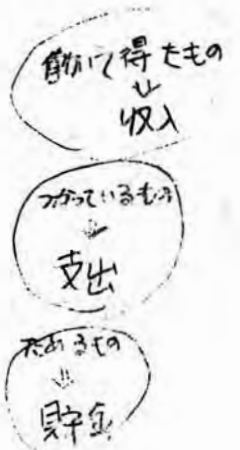
名前(5年 女子)

1. 買い物で失敗したことをあげてみよう。

- イメージを見て買ったら、中身は全くちがかった。
- 家がないと思って買ったらまたあった。
- 早くほしいと思って買ったら、別の店にもっと安い物があった。

2. 家庭では、どんなことにお金を使っているかな。

- | | | | |
|-----------|------|-------|--|
| ◦食べ物 | ◦ゲーム | ◦おみやげ | ◦医 ^生 の ^し ゃう ^り 費 |
| ◦ノートやえんぴつ | ◦お守り | ◦教育費 | ◦光熱費 |
| ◦よけいなもの | ◦交通費 | ◦洋服 | |



収入	-	貯金	=	支出
(収入 - 支出 = 貯金)				

3. これから先、ほしいものがあったらどうしますか。

- 安かったら買う。
- すこし高めればもうおこしま^つて、お金がたまたら買う。
- 高かったらたぶんあきらめる。

今日の授業の感想を書こう。

今日の授業で、必要のないものをたくさん買っていることがわかった。お金はすと使いつづけたらなくなるけど、お父さんとお母さんなどが働いて得たお金なので、そのことも考えて買う物を選びたい。お年玉やおこづかいなどでお金をもらったときは、しっかり貯金をしたい。ほしいものは何でもすぐ買わず、考えてから買う。たくさんのお金を使っている。

じょうずに使おう物やお金

名前(5年 男子)

1. 買い物で失敗したことをあげてみよう。

・買ったかった物とちがう物を買ってしまった。

2. 家庭では、どんなことにお金を使っているかな。

・食料品 ・衣服
・学校とかで使う物。
・交通費 ・医料費 ・光熱費

収入 - 貯金 = 支出

3. これから先、ほしいものがあつたらどうしますか。

買う前にほんとうに必要なのか考える。

今日の授業の感想を書こう。

・お金は、ちゃんと考えてから使った方がいいとわかりました。
・家族が働いてくれた収入なので大切にするということがわかった。

じょうずに使おう物やお金

名前(5年 女子)

1. 買い物で失敗したことをあげてみよう。

- ・安く買ったら、他の店でもっと安く売っていた
- ・3枚売りのノートを買ったら使わずにあまってしまった。
- ・2人で別々に買い物をしたら、同じ物を(同じ数だけ)買ってしまった。

2. 家庭では、どんなことにお金を使っているかな。

- | | | |
|--------|------------|--------|
| ・食料品 | ・必要だと思ったもの | ・交際費 |
| ・洋服 | ・養育費 | ・水道費 |
| ・くつ(靴) | ・病院代 | ・光熱費 |
| ・日用品 | ・交通費 | ・遊びのため |

$$\boxed{\text{収入}} - \boxed{\text{貯金}} = \boxed{\text{支出}}$$

$$(\text{収入} - \text{支出} = \text{貯金})$$

3. これから先、ほしいものがあったらどうしますか。

- ・今本当に必要かどうか考える。
- ・タイムサービスなどで安くなるのをまつ。SALE。
- ・家庭の支出を考えて、よゆうがあたらう。

今日の授業の感想を書こう。

- ・ものの使い方に、気をつけようと思った。
- ・あらためて考えると、ムダが多すぎた。
- ・ものの買い方のほうほうが友達のものとは比べられた。
- ・家庭全体をみて、貯金をしたり、買い物をしようと思った。
- ・お金やものの使い方は、自分ではなく、家族とも相談して、決めようと思った。
- ・お金にはいろいろな使いみちがあることがわかった。

4. 実践報告

(1) 児童生徒の様子・変容

この単元に入る前に、どのくらいの児童がお小遣いをもらっているのかをきいてみたところ、半数強くらいであった。お年玉は、全員の児童がもらっていた。お小遣いをもらっていない児童は、その都度保護者に買ってもらったり、お年玉の貯金の中から欲しいものを購入したりしているとのことであった。全員が買い物の経験はあり、家族や友達と、またはひとりで買い物をしているという実態も明らかになった。導入では、だれでもしてしまったことのある「買い物の失敗」を思い出すことから入ってみた。

買い物で失敗したことをあげてみよう

- ・まちがえて違うものを買ってしまった。(サイズ、量、種類など)
- ・家にあるのに忘れてまた買ってしまった。
- ・予定にはないものを買って、お金が足りなくなった。
- ・食材をたくさん買い過ぎて余らせ、食べられなくなってしまった。
- ・賞味期限が短い食品を買ってしまった。
- ・もって帰るときに損傷した。(つぶれた、こわれた) → 買いなおした。
- ・他の店の方が安かったのに、高い店で買ってしまった。
- ・予想やイメージと違って、がっかりした。

自分だけでなく、家族の失敗も考えさせた。全員に発表させたが、ひとりだけ失敗したことがないという児童もいた。出たものを全て板書し、どう思うか聞いてみたところ、「むだ買いが多い」「もったいない」という意見が出た。もったいないは、お金だけでなく、物に関しても同じことがいえるという確認をした。改めて書き出してみると、いかに今までむだなことをしていたかがわかったようだった。

次に、家庭ではどんなことにお金を使っているかを考えることにした。すると、食料品や日用品、電話代や光熱費といったものの他に、教育費やローンという言葉まで出てきた。また、お葬式に行く時などという発表もあり、家族と一緒にの時の経験に基づいた意見を出すことができた。また、収入とは家族が働いて得たお金のことであることを押さえ、貯金と支出はその中からやりくりしていることを学んだ。

これから先、欲しいものがあったらどうしますか

- ・予算を見て余裕があれば買う。
- ・家族と相談する。
- ・お金を貯めてから買う。
- ・タイムサービスやバーゲンなど、安くなるまで待つて買う。
- ・何件か回って、一番安い店で買う。
- ・本当に必要かどうかよく考える。
- ・品物の価値を良く考えて買うかどうか決める。
- ・似たようなものがあれば買わずに代用する。
- ・がまんする。

後半では、欲しいものがあつたらこれからどうするかを各自考え、黒板に貼り出していった。上記のように買う前に考えるという児童が大半だったが、買わないでがまんしたり、何も考えずに買ったりという児童も若干見られた。

授業後の感想より

- ・お金の大切さや、買い物をする時に注意すること、欲しいものの買い方などがわかった。
- ・むだにしてしまったことを生かして、次から買い物をしようと思った。
- ・次からは買い物で失敗しないようにしたい。
- ・買い物に行った時には注意しようと思った。調べてみて良かった。
- ・お金は本当に大切なものだから、まちがえて買ったりしないようにして、使わないお金やあまったお金は貯金する。
- ・欲しいものは、よく考えたり、相談したりして決めようと思った。
- ・財布にお金が入っていると使ってしまうので、なるべく財布の中身を少なくしようと思った。
- ・支出をしてから貯金だと思っていたが、貯金をしてからの方がむだ遣いができなくなるという大切なことを学べて良かった。
- ・すぐには買わずに必要なかどうかを考え、買いすぎないようにすることをこれからも意識して生活するのが大事だと思う。
- ・お父さんやお母さんが働いて得た収入だから、買って後悔しないようなものを買う。
- ・改めて考えるとむだがたくさんあるので、ものの使い方に気をつけようと思った。
- ・お金にはいろいろな使い道があることがわかった。
- ・コマーシャルなどで「お金は大事だよ～」と言っているが、本当に大事だと思った。
- ・欲しいものがある時のみんなの考えがわかってよかった。自分と全然違う意見が出て、びっくりした。
- ・自分とは違う考えの人もいたから、その人たちの意見もとり入れたい。
- ・あきらめることも生きていくには必要なんだと思った。

(2) 成果と課題

○ 成果

- ・生活に密着した身近なテーマだったので、全員が生活体験を基に発表することができた。
- ・普段何気なく行っていたことが、ずいぶんむだを生み出していることに気づき、これから気をつけようという意識づけになった。
- ・支出には光熱費や医療費など、目に見えないものもあることに気づいた。
- ・ほとんどの児童が「収入－支出＝貯金」だと思っていたが、「収入－貯金＝支出」だということに少数の児童が気づいた。説明を聞いて納得の声が聞かれたので、発想の転換を促すことができた。
- ・自分だけで今後取り組めるものも多いので、意欲が喚起できた。
- ・改めてお金や物の使い方を考たり、見直したりする良い機会となった。
- ・本時の後は買い物の仕方を考える学習だったが、広告や口コミの大切さなども出てきて、計画的な買い物について考えることができた。
- ・品物の選び方については、JASマークやエコマークなどを自宅で探す作業を取り入れた。身近な商品にいろいろなマークがついていることと、その意味も理解することができた。

- ・家族が働いて得た収入の大切さがわかり、お金の価値をよく考えるという意見が多く出た。

○ 課題

- ・本時の最後に、欲しいものがあつた時の自分の行動を考えたが、何も考えずに買うと答えるなど、学習後の変容が見られない児童も少数見られた。
- ・お金の使い方については関心が高まったが、物の使い方については今ひとつだった。もう少し深められればよかった。
- ・お小遣いの有無やお年玉など、個人差があるので実践する機会は個人差が出てくる。
- ・意識づけにはなつたが、家庭での考え方もあり、継続していけるかどうかは難しい。

(3) 使用教材・資料等

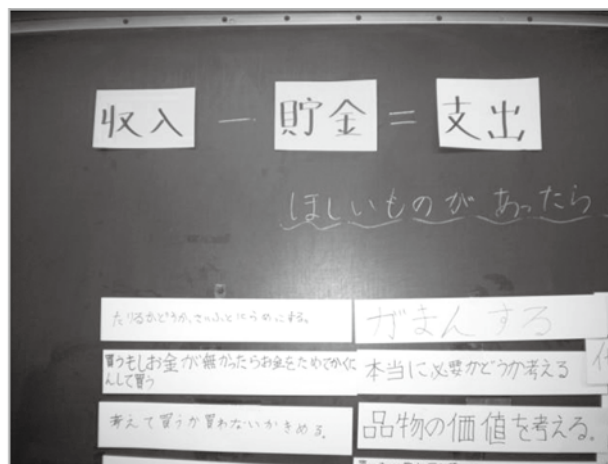
- ・家庭科教科書「わたしたちの家庭科」
開隆堂出版(株) 平成23年2月5日発行/櫻井純子 ほか著
- ・ワークシート

○ 授業の様子

これからの生活について考えたこと



どうしたら貯金ができるか全員で考えた



(4) 教育委員会から

小学生のうちから正しい金銭感覚を身につけさせること、それは「消費者教育」の主なねらいの一つです。目の前を金銭が行き来することなく収入を得られたり物を買うことができたりする現代、改めてこのような授業を仕組み、お金の大切さや「もったいない」という感覚を味わわせることは、今後ますます必要になってくるでしょう。

(5) 消費生活センターから

本実践では、普段あまり意識せずに行っている「物を買う」という行為について、児童と家族の失敗経験から導入し、子ども達に「物を買うためには良く考える必要がある」という問題意識を持たせていました。収入、支出の具体的な内容に気付かせ、貯蓄の効果的な方法にまで踏み込んだ本時の学習は、「契約・取引」領域での目標のひとつである家計管理の基礎となるものです。また、「よく考えてから買おう」とする気持ちは、お金の管理だけでなく、環境や安全、情報領域でも必要な態度の基礎となります。

単 元 名	しょうかいのポスターを作ろう	
実 施 校	柏 市 立 柏 第 三 小 学 校	
学 年 / 教 科 等	第 5 学 年	国 語
指 導 者	田 中 竜 一	
総 授 業 数	9 時 間	

1. 単元について

(1) 設定の理由

本単元は、視覚的な広告媒体であるポスター作りを通して、①ポスターを誰に発信していくかという目的意識、②発信する事からの見つめなおし、③読み手に伝わるような表現の工夫、の三点を国語として考えていく単元である。紹介したい内容が読み手に届くように、文章や書き方を考える活動を行い、わかりやすいポスターを作っていく。そして、ポスターを作る活動を通して、広告媒体に見られるさまざまな工夫に目を向けさせていきたいと考え、本単元を設定した。

(2) 目標

ポスターの役割をとらえ、伝えたいことを工夫してポスターを作る。

広告の特徴を理解し、表現の仕方などに興味をもって調べる。

2. 指導計画

- 1・2 紹介のポスターを作ることに興味をもつ
- 3・4・5 書くことを決め、構成や配置を考えながらポスターを作り上げる。
- 6 ポスターを紹介しあい、感想を交換する。
- 7 身の回りにある広告を調べて、表現の仕方や工夫を調べる。
- 8 調べたことをグループごとにまとめる。
- 9 広告の表現の仕方を発表しあう。(本時)

3. 本時

(1) 目標

広告の表現の仕方を発表しあい、伝え方の違いや工夫に気づく。

(2) 消費者教育の視点

広告の目的や対象を考え、たくさん買ってもらうための工夫や、広告を見る相手のことを考えた表現の仕方をとらえることで、広告の情報を鵜呑みにしたり、派手な見た目に惑わされたりせず、正しい情報をとらえられる見方を養っていきたい。

(3) 展開

時 配 (分)	指 導 内 容 ・ 学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点 (■消費者教育の視点・◎評価)	備 考
10	<p>○発表する視点、発表を聞く視点について確認する。</p> <p>発表する視点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・買ってもらうためにどんな工夫をしているのか。 ・たくさんの人に来てもらうためにどんな工夫をしているのか。 <p>発表を聞く視点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・違いや工夫について聞く。 ・広告を見るときにどんなことに気が付いたらいいのか。 	<p>■伝える目的や内容、相手によって広告には、目を引くための工夫があることに気づく。</p>	
25	<p>○ポスターセッションを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学級の半分が発表し、半分が聞き役になる。 ・前半の発表が10分、準備の時間をとって後半の発表を10分取る。 ・発表を聞いてわかったことや思ったことをメモする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループごとに広告の職種を選び、集めてきた広告を比べて、目的による違いや工夫を発表する。 <p>◎進んで発表を聞き、質問やメモをとることができたか。</p>	<p>ポスター</p> <p>ワークシート</p>
10	<p>○感想を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表をして思ったことや、他の班の発表を聞いて思ったことを発表する。 <p>○授業の感想を書く。</p>	<p>◎広告によって、伝え方の違いや工夫があることに気づくことができたか。</p> <p>◎これから広告を見るときに、内容を注意して見るよう考えることができたか。</p> <p>■広告の違いや工夫についての発表を聞く中で、広告を正しく読み取ることの大切さに気づく。</p>	

4. 実践報告

(1) 児童生徒の様子・変容

国語の学習としては、自分の担当するものや自分の調べたことを紹介するポスターを作る単元「しょうかいのポスターを作ろう」がある。子どもたちは自分の委員会について紹介や呼びかけることを考えポスターを作る活動を行った。

また、教科書のなかに「広告の特徴」というページがあり、広告には様々な工夫がなされていることや、伝え方の違いがわかることが説明してある。そこで、実際の広告から目的や内容、対象に合わせてどのような工夫がされているか調べてみた。自分の興味のある職種について広告を集め、いろいろな会社の広告を見比べることで工夫に気が付くのではないかと考えて取り組んだ。

子どもたちは、自分の選んだ職種について、新聞広告ばかりでなく、実際に店に行ってチラシやクーポンを集めてくるなど、積極的に広告を集め、考えることができた。また、広告を見比べ、広告を作っている人が工夫したり、強調したりしているところを考え、発表につなげることができた。

また、他のグループの発表を聞くことで、自分達の気が付かなかった工夫に気が付いたり、いろいろなキャラクターや写真などで目を引こうとしているが、広告として大切な店や商品の情報を見落としていないか考えたりするきっかけにできた。

○授業の様子

ポスターセッション



(2) 成果と課題

○成果

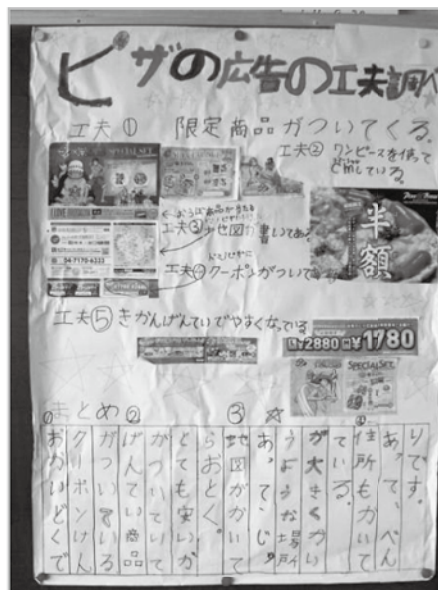
今回実際の広告を使うことで、子どもたちの関心が非常に高まり、発表に向けての意欲が継続した。授業後にも、値段を比べて見る、クーポンをさがす、広告の中にある情報に目を向けるなど、広告をもっと活用しようという姿勢が見られるようになった。

○課題

3学期の家庭科「じょうずに使おう物やお金」につながる内容であるのだが、まだ未実施なので児童が実際に広告を使ってどのように買い物をするのか、自分の問題として広告を活用できるのかまだ確認できていない。そして、内容の多い国語の中に、さらに大きな発表を入れたことで、他の学習をかなり短くしなければならなかった。

(3) 使用教材・資料等

○実際に児童が製作したポスター



○広告の工夫を探すためにに使用したワークシート

① 来てもらうための工夫

広告	MONETARYS
工夫	自社で販売している商品を安く販売している。
広告	ONZOR
工夫	自分たちが販売している商品を安く販売している。
広告	ONZOR
工夫	自分たちが販売している商品を安く販売している。

① 来てもらうための工夫

二、目的を達成するために工夫していることを探そう。

一、広告の目的は何だろう。

田舎でもよく来てもらう

五年一組 十番 氏名

広告	MONETARYS
工夫	自分たちが販売している商品を安く販売している。
広告	ONZOR
工夫	自分たちが販売している商品を安く販売している。
広告	ONZOR
工夫	自分たちが販売している商品を安く販売している。

○ポスターセッションを終えて書いたワークシート

聞いたグループ		自分達のグループ	
わかった広告の工夫	わかった広告の工夫	わかった広告の工夫	わかった広告の工夫
ポスターはわかりやすかった	ポスターはわかりやすかった	ポスターはわかりやすかった	ポスターはわかりやすかった
声の大きさを話し方がよかった	声の大きさを話し方がよかった	声の大きさを話し方がよかった	声の大きさを話し方がよかった
広告の工夫がよかった	広告の工夫がよかった	広告の工夫がよかった	広告の工夫がよかった
質問ができた	質問ができた	質問ができた	質問ができた

聞いたグループ		自分達のグループ	
わかった広告の工夫	わかった広告の工夫	わかった広告の工夫	わかった広告の工夫
ポスターはわかりやすかった	ポスターはわかりやすかった	ポスターはわかりやすかった	ポスターはわかりやすかった
声の大きさを話し方がよかった	声の大きさを話し方がよかった	声の大きさを話し方がよかった	声の大きさを話し方がよかった
広告の工夫がよかった	広告の工夫がよかった	広告の工夫がよかった	広告の工夫がよかった
質問ができた	質問ができた	質問ができた	質問ができた

聞いたグループ		自分達のグループ	
わかった広告の工夫	わかった広告の工夫	わかった広告の工夫	わかった広告の工夫
ポスターはわかりやすかった	ポスターはわかりやすかった	ポスターはわかりやすかった	ポスターはわかりやすかった
声の大きさを話し方がよかった	声の大きさを話し方がよかった	声の大きさを話し方がよかった	声の大きさを話し方がよかった
広告の工夫がよかった	広告の工夫がよかった	広告の工夫がよかった	広告の工夫がよかった
質問ができた	質問ができた	質問ができた	質問ができた

(4) 教育委員会から

国語の学習「ポスターセッションでまとめよう」に、消費者教育の観点を付加させた取組です。広告を使って、売り手側の宣伝の工夫と、買い手側の広告の賢い見方、双方を学ばせることに成功しました。

この活動がゴールではなく、ここからが賢い消費者としての生活のスタートです。この活動で身につけた力を、実生活に役立ててはじめて活動が完了するのです。

(5) 消費生活センターから

児童期では、商品を買うときに「必要かどうかを良く考え、価格や品質を検討して買う」ことが「契約・取引」領域の目標の一つとなっています。日々多様な情報に囲まれている子ども達にとって、本当に自分の意思で買いたいと思うのか、売り手にコントロールされているのかということを振り返る機会が必要です。また、どのような目的で与えられた情報なのかを見抜く力も必要です。広告を批判的にとらえた上で、自分に必要な情報を得る訓練は極めて大切なものです。

単 元 名	お金の役割ってなんだろう	
実 施 校	柏市立田中北小学校	
学 年 / 教 科 等	第 5 学 年	総合的な学習
指 導 者	東 條 正 興	
総 授 業 数	3 時間	

1. 単元について

(1) 設定の理由

高学年になると、もらったお小遣いやお年玉を、自分でどのように使うかを考えるようになり、家庭科の学習でも「お金の使い方」について学ぶ。

たとえ小学生とは言え、子ども達も消費者の一人である。「お金は大切だ」と親から教わってきて知っているが、お金に関するトラブルに関しては、ほとんど無知である。

そこで、そもそもお金とはどのような役割があるのか、そしてどのような問題があるのかを子ども達に伝えたいと考えた。

最近では、「suica」や「ナナコカード」のような電子マネーが、子どもたちでも簡単に手に入るようになった。このような便利さの裏には、必ず問題点も存在する。

大人になって、カード破産などの問題に巻き込まれる人が、年々倍増している。

お金に関するトラブルを概略的に知り、そこから子ども達が「お金の大切さ」を深く考えるきっかけとしたい。本単元は、家庭科の「お金の使い方」につなぐ橋渡しとなる学習である。

(2) 目標

- ・お金の大切さを考え、計画的に使おうとする態度を養う。
- ・お金のトラブルは家族に迷惑をかけることを知る。

2. 指導計画

第1時（本時）	お金の歴史から便利さを見つけよう
第2時	子どもが巻き込まれるお金のトラブルって？
第3時	便利な電子マネーの落とし穴

3. 本時

(1) 目標

- ・お金の役割をその歴史から考え、理解することができる。
- ・お金に関する問題を、便利性と関連付けて考えることができる。

(2) 消費者教育の視点

- ・暮らしとお金の関係を、その変遷から理解する。

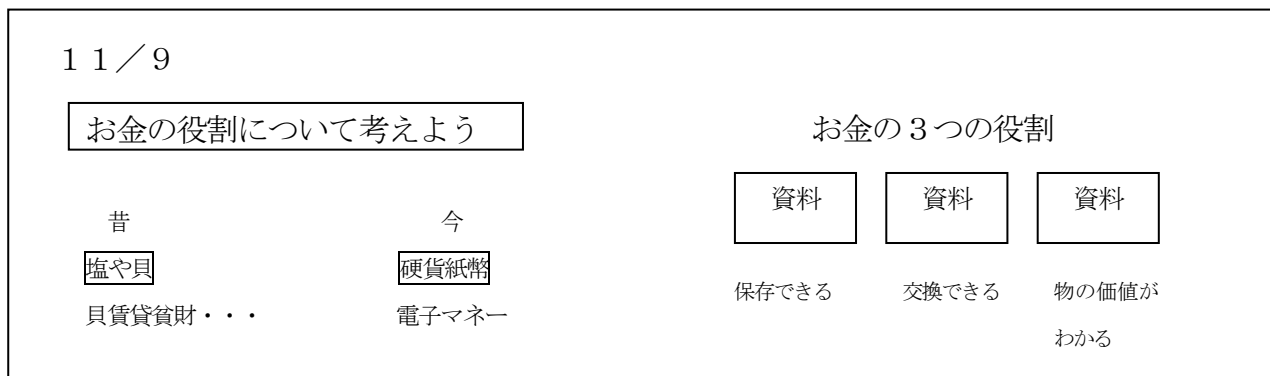
(3)展開

時配 (分)	指導内容・学習活動	指導上の留意点 (■消費者教育の視点・◎評価)	備考
5	○買い物をする場面で、何を使って支払うことができるかを考える。 ・お金 ・電子マネー ・図書カード(金券) ・ケータイ ・クレジットカード	■例示を出し、様々な支払方法があることを考えさせる。 ・ワークシートに記入後、挙手にて発表。	電子黒板 ワークシート
10	○お金の歴史を知る。 ①中国で使われた貝とお金に関する漢字 ②ローマで使われた塩 ③日本で使われた稲 ④硬貨と紙幣 ⑤電子マネー	・隣どうし相談させる。 ◎進んで自分の考えを話そうとしていたか。 ■昔のお金に関する言葉が、今でも多くの言葉に影響を与えていることを知る。	
5	○お金のない時代は、どのようにして欲しいものを手に入れていたかを考える。 ・物々交換をしていた ・働いてほしいものをもらった ・自分で作ったり、採ったりした		
10	○物々交換を体験する。 ・大根一本と馬一頭では、不公平だ。 ・交換したくないものもある。 ・お互い必要とする相手を見つけるのが大変だ。	■子ども達は、物々交換では、自分と相手の要望が一致する難しさや不公平感や生まれることに気づく。	物々交換カード
10	○物々交換と比べたお金の良さについて、考える。 ・だれでも持つことができる ・価値がはっきりしている ・貯めることができる	■お金の3つの役割を扱う。お金の役割を考えることで、お金の大切さを改めて考えるきっかけとなる。	
5	○お金の役割について、まとめる。 ①何とでも交換できる ②価値がわかる ③保存できる	◎お金の役割からお金の大切さについて気づくことができたか。	

(4) 評価

- ・お金の役割をその歴史から考え、理解することができたか。

(5) 板書計画



4. 実践報告

(1) 児童生徒の様子・変容

学習問題を提示したとき、「お金の役割ってただ使うだけでしょ」とつぶやく子がいた。子ども達は、お金について深く考えたことはない様子であった。

しかし、学習を進めていく中で、物々交換にはないお金の良さ・働きを考えていった。

貝が使われている漢字を考えさせる場面では、たくさん列挙する活動を通して、お金に関係する字が多いことに気づく子どもがいた。教師の意図していたことを、活動の中で発見し、見出すことができた。

物々交換ゲームを体験すると、「自分と相手のニーズが合わなければ交換は成立しない」「自分の欲しいものを持っている相手を探すのが大変」など、その問題点を発見していった。

そして、お金の良さについて改めて考え、まとめることで、子ども達はその便利さ・良さを理解したことが、子ども達のアンケートからも読み取れた。

第2時で行ったお金に関するトラブルでは、子ども達に身近な問題として、ネットでの買い物やお金の貸し借りの問題点を取り上げた。お金の貸し借りでは、貸した方にも借りた方にも問題点があることを考え、「お金の貸し借りはどちらもよくないことがわかった」と感想を述べる子どもがたくさんいた。

第3時では、電子マネーの問題点として、クレジットカードのしくみや社会問題を取りあげた。20歳になればだれでも持つことのできる良さだけでなく、その問題点についても考えさせる中で、はじめは「大人になったら持ってみたい」と思っていた子達も「気をつけて使わないと大変なことになることがわかった」「こわさがわかったので、あまり持ちたくない」などと、その感想に変容が見られた。

(2) 成果と課題

○ 成果

第1時の授業の感想を見てみると、お金の役割や物々交換のデメリットなどについて、活動の中でよく理解できた子どもが多いことがわかる。

授業の最後に考えさせた「お金に関する問題」については、どの子ども「大人の問題」として捉えていたことがわかった。自分達にとっては、身近ではないと思っていた。

しかし、小学生にも関するトラブルがあると伝えると、子ども達の興味はより深くなった。

以下、第1時の授業後の感想である。

- ・お金の価値や役割などにきちんとした理由があるということがわかった。
- ・昔は物々交換や貝がらで物を交換しているということがわかった。
- ・昔のお金のことや今のお金の便利さ、お金に関係している問題が意外といっぱいあっておどろいた。
- ・お金は良いところがある。例えば、交換できる、持ち運べるなどあるけれど、悪いところもあって、さぎなど、まんびきなどにあたりと、悪いところと良いところがある。
- ・物々交換で（相手の）ほしいものとあげるものが同じじゃないといけないとわかった。
- ・昔のお金に比べて便利になってきている。
- ・お金は、現代や過去や未来も使い方やお金の支払い方法も変わる。
- ・物々交換は条件がそろわないと大変。
- ・昔は物や小判でとりひきをしていたけど、今は電子マネーでも支払いができる。
- ・お金の問題はけっこういっぱいあった。
- ・昔は物々交換などして、欲しいものなど交換していたけれど、今は、物々交換じゃなくて、お金で交換するから今と昔は、全然ちがうとわかりました。
- ・お金が昔は物だったのが、びっくりした。物々交換が意外に難しかった。

第2～3時では、お金に関する「便利さ」だけでなく、その裏側にある「問題点」についても取り上げることによって、身近や将来起こりうるトラブルを未然に防ごうという意識が働くようになると感じた。

単元構成時は、クレジットカードの学習が「子ども達には早いのでは」と自分自身迷うところがありながら模索していた。

しかし、実践してみて思うのは、小学校の保健で「たばこや飲酒」をとりあげるのと同じで、素直な今だからこそ、大人になる前に知識として知っておく必要があると実感した。

○課題

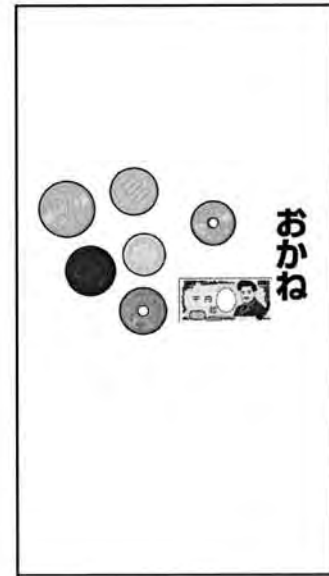
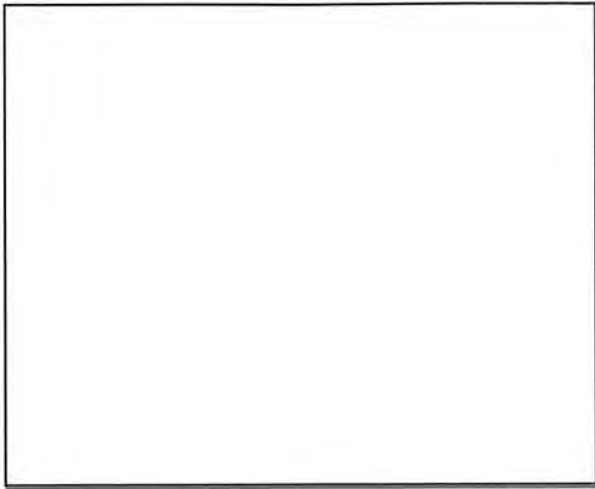
今回の学習内容は、高学年向けだが、低学年や中学年では、どのようなことを教えておくべきなのか、系統的にまとめられると学校教育の中での位置づけがはっきりしてくるようになって感じた。大人の中で起こっている現代の金融トラブル。子どものうちにどのような学習をしておけば、未然に防ぐことができるのか、全体的な構造をまとめられればと思う。

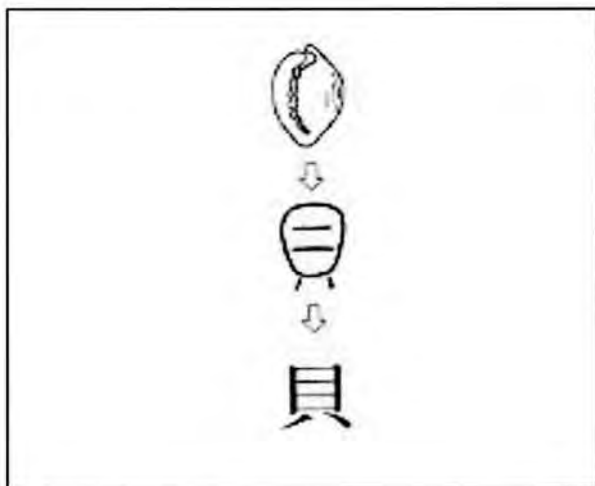
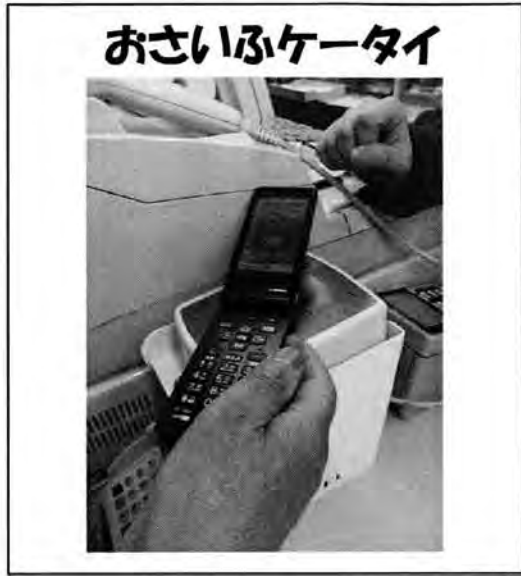
また、授業形態として、教師が「教える授業」だけでなく、子ども達が「調べて発見していく授業」は、どのような内容であれば可能なのかなど、模索していきたい。

(3)使用教材・資料等

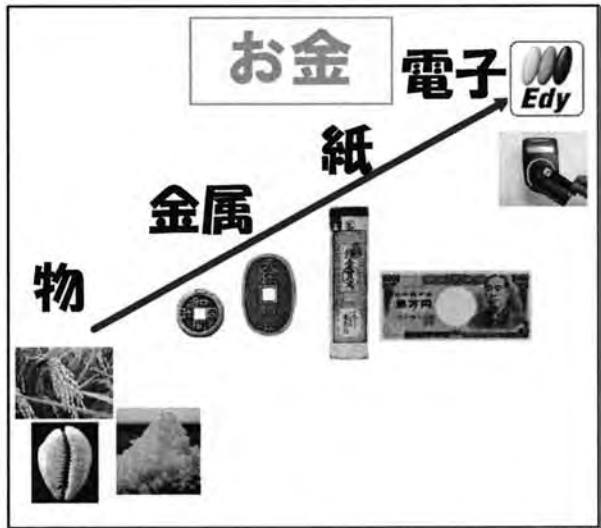
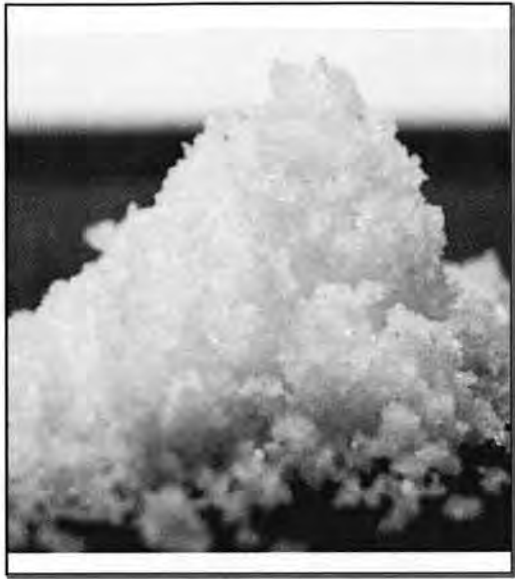
- ・パワーポイントの自作教材「お金の役割」「お金の問題点」
- ・パワーポイント「クレジットカード」（松戸市立北部小学校 細羽正巳氏作成）

〈お金の役割〉





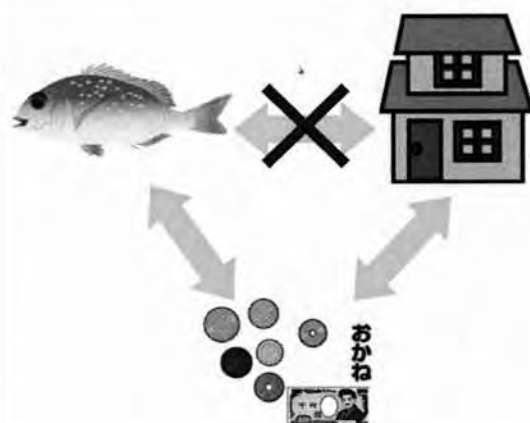
買貯 貧質 負債 貸貨 貝財



お金のない時代、人々は
どうやって欲しいものを
手に入れていたのでしょうか。



お金の良さ



①





できる





時間がたつと・・・

② 長く できる


安い


高い





③ がわかる

④ が簡単

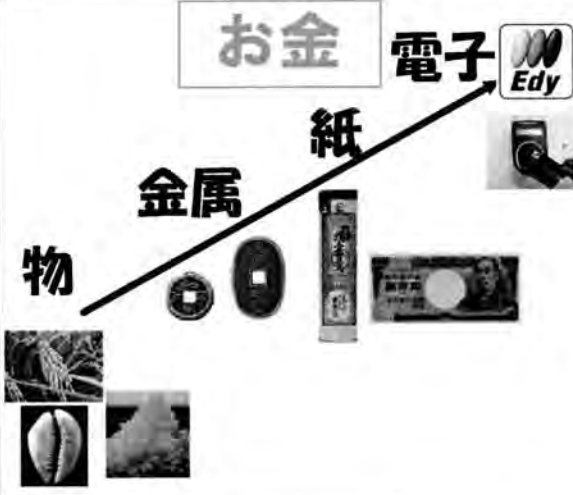
物

金属

紙

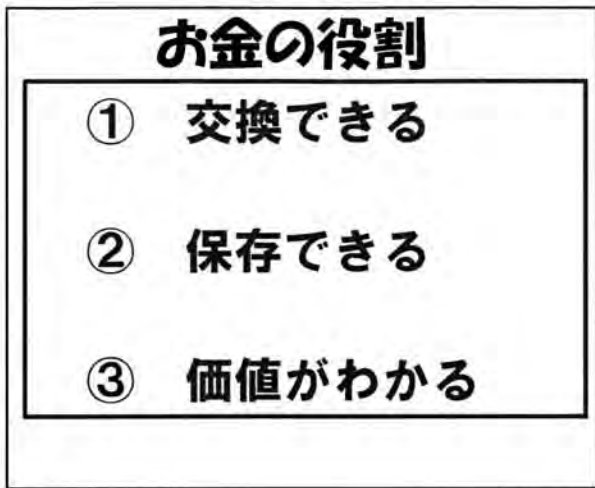
電子

Edy



お金の良さ

- ① 交換できる
- ② 保存できる
- ③ 価値がわかる
- ④ 持ち運びが簡単



○授業の様子

昔のお金



物々交換



(4) 教育委員会から

総合的な学習の時間と「消費者教育」を組み合わせ、「物々交換ゲーム」を実際に行うことで、ふだん当たり前に使っているお金の役割を考えさせる内容です。大人の我々も、改めてお金の便利さに気づかされ、感心してしまいます。

先生が自作で用意したプレゼンテーションや「物々交換ゲーム」は、視覚的にも内容的にも素晴らしい効果がありました。柏市の財産となる取組です。

(5) 消費生活センターから

「契約取引」領域の児童期での目標として、①よく考えて買う ②こづかいを計画的に使う ③約束や社会の決まりを守る ④物を買って不安になったときには身近な人に相談できる ことが上げられていますが、本実践は「お金は欲しい物の便利な交換手段として発達した」というお金の役割そのものに気づかせる興味深い展開となっていました。

電子マネーや仮想通貨の普及が進む現代、子どもたちにお金の意味を実感させることは非常に大切なことであり、その確認の基、上記の目標を考えていくことは極めて大切です。

単 元 名	買い物名人になろう	
実 施 校	柏 市 立 逆 井 小 学 校	
学 年 / 教 科 等	第 4 学 年	総合的な学習
指 導 者	竹 内 美 紀	
総 授 業 数	1 時 間	

1. 単元について

(1) 設定の理由

学級の子どもたちは、お金について、何でも買うことができ便利なものとして見ている。使い方についてもあまり深く考えない子が多い。そこで、そのお金に向き合って、お金とは何なのかを考えさせ、生活には必要不可欠なものであり、そのお金は、家のお父さんお母さんが一生懸命働いてやっと得ることができるものとして再認識させたい。世の中お金がなければ生活できない。だからこそ、家のお父さんお母さんが汗水たらして働いてくれている。そのお金をどのように使ったらよいのか、使うに当たってはどんなことに気をつけたらよいのか、4年生の生活実態を考慮しながら考え授業に臨みたい。

(2) 目標

お金について学習し、お金の大切さを再認識し、どのように使い、どんなことに気をつければよいか、みんなで考えることができる。

2. 指導計画 (1 時間)

- ・お金は家の人働いて得た対価としてあることを教え、物を購入するにはよく考えて買うことやその物を最後まで大切にすることを学ぶ

3. 本時

(1) 目標

お金について学習し、お金の大切さを再認識し、どのように使い、どんなことに気をつければよいか、みんなで考えることができる。

(2) 消費者教育の視点

お金は尊い労働の対価であること、いくらでもあるというのではなく、限りあるものだということ、だからこそ、どのように使うかということが重要なのだということを生活の様々な場面で、折に触れて話していきたい。小学校生活後半である4年生に入り、行動範囲も広がり始めた10歳という年齢に、貴重なお金で物を買うことを改めて考えさせたい。友達と比べることで、自分の消費行動を振り返れると幸いである。

(3) 展開

時配 (分)	指導内容・学習活動	指導上の留意点 (■消費者教育の視点・◎評価)	備考
10	<p>・お札や小銭を提示する。</p> <p>1. お金はどんなときに必要か考える。 何か（食べ物、服、文房具、）を買うとき。電気、ガス代、水道代、携帯電話代を払うとき。病院に行ったとき。習い事の月謝。給食費。旅行。ゲーム等</p> <p>2. お金はどこから来るのか考える。 家の人働いてもらった給料が自分たちの生活で使う、お金になる。</p>	<p>◎生活の多くの場面でお金が必要であることに、改めて気がつくことができたか。</p> <p>・お父さんお母さんが頭や体を遣い一生懸命働いてくれているから暮らしていけることを感じさせる。感謝の気持ちを持たせる。</p>	<p>お金</p>
25	<p>3. お買い物のごっこを班ごとにする。</p> <p>1班 鉛筆 2班 セロハンテープ 3班 ノート 4班 のり 5班 消しゴム</p> <p>例 Aさん・・・かわいい消しゴム 理由・・・かわいい絵がついていたから Bさん・・・シンプルな消しゴム 理由・・・使いやすいから、よく消えるから Cさん・・・においのする消しゴム 理由・・・好きなにおいだったから</p>	<p>■限りあるお金を大切にす気持ちを持つことができたか。</p> <p>・班ごとに品物を用意し、どの品物を自分だったら買うか考えさせる。なぜ、その品物を買ったか理由をはっきりさせる。できれば、ひとりひとりに理由を言わせる。</p> <p>・友達の考えに対しては、批判はしない。そのかわり、アドバイスができる人はする。</p>	<p>様々な品物を1種類につき4～5こ準備する。</p> <p>・値段・形などの違う品物</p>
5	<p>4. お金を使うときに大切なことを考える。</p> <p>①何に使うか（目的）考えて買う ②よく考えて物を買う。（本当に必要かどうか） ③計画的に使う。</p> <p>5. お母さん（お買い物名人）の代表に、食事の買い出しでお金を使うときに</p>	<p>■買い物ごっこをしながらなぜそれが買いたいのか理由を考えさせ、発表させながらそれぞれ多様な価値感があることを知る。</p> <p>■用途に一番適していて、本当に必要かどうか考えることができる。</p> <p>・計画的に買うことについては、消費者教育の出前授業を受ける。</p>	

	<p>気をつけていることを話してもらう。</p> <p>6. まとめをする。 今日の授業を振り返り、感想等をワークシートに記入する。</p>	<p>・お金は無限ではないことを話し、物を大切にしてほしいことを話す。</p> <p>・感想を発表する。</p>	<p>ワークシート</p>
--	--	--	---------------

4. 実践報告

(1) 児童生徒の様子・変容

低学年で消費者教育を実施していない子ども達にとって、内容的には少し簡単すぎるかと思いましたが、普段の消費行動を振り返って考えさせる良い機会になりました。

まず、お金が家の人が一生涯懸命体や頭を使って働いて得た対価であることを改めて考えさせたことで、子ども達は感想の中で、「たくさんのお金が生活するには必要だとわかりました。」と書いていました。目に見えるはっきりした変容はまだ、見られませんが、「買い物名人になろう」という言葉と大事な点については、ときどき子ども達の会話の中から聞こえてきます。

(2) 成果と課題

○成果

「買い物名人になろう」では、お金の大切さがわかった、上手な買い物の仕方がわかった、値段を見て買う、必要かどうか考えてから買う、貯金したい、色々な所で必要なことがわかったなど、こちらが子ども達にわかってほしいことはだいたい理解していました。

算数の授業の中でも買い物の文章題が出ると、買い物名人の話がでるほど、子どもたちにとっては身近な内容であったと思います。

そして、学期末に子ども消費者教室で「どうしてお金は大事なの？」の授業をやっていたいただきました。視覚的にお金がどのような所やどのような物に使われているか改めてわかり、私の授業での復習も兼ねたことが、子ども達の消費行動を考えさせる大変良い機会となりました。

そこで、こづかい帳「マナブーのこづかい帳」を冬休み前にいただいたので、冬休みのしおりにも、それを使ってお年玉を大切に計画的に使おうということを明記しました。2回の授業を通して、お金がいかに大切か、そして、それらを計画的に使うことなどよく理解させられたと思います。

冬休み明け、こづかい帳を使ってどのようにお年玉を使ったか聞くのが楽しみです。

○課題

授業でしっかりわかっていても、家庭の考え方が子ども達の消費行動を決めると思います。親にどのように啓蒙していくのかその難しさを感じます。

まずは、子ども達が持っている自分の持ち物（文房具等）を大切にすることを普段から呼びかけていく必要があると思いました。せっかくこのような授業をさせていただいたので、2回で終わらせず、学校生活の中で繰り返し声をかけていきます。

(3) 使用教材・資料等

○ワークシート

買い物名人になろう！

4年 組 名前

○お金はどんな時に使いますか？

○お金はどこから？

○さあ、じょうずに買い物ができるかな？

 班

文ぼう具



私は、

① ② ③ ④ ⑤

を買います。

選んだ理由は、

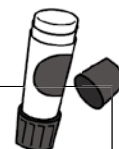
からです。

○じょうずな買い物をするためには…

①

②

③



感想

(4) 教育委員会から

消費生活センターの行っている「出前授業」と、担任の先生の授業を複合的に行い、絶大な効果をあげることができた取組です。授業参観日に本時の授業を公開することで、家庭にも「消費者教育」の実態を知っていただくことができました。こうした取組は、親子で買い物や小遣いに関する共通の話題を持つことが期待でき、実際の消費場面で生きる指導となります。

(5) 消費生活センターから

本実践は、「契約・取引」領域にあたり、将来の家計管理につながるものです。子供たちは、お金が生活の様々な場面に必要なこと、そして家の人が働いて得ているものであることに気づき、どうしてお金を大切にしなければならないか、考えて使う必要があるのかを実感したようです。後半の買い物ごっこでは、友達同士で様々な商品選択の理由があることに気づき、商品の選択が「環境保護や、消費者のことを考えた商品の流通を促す力となり得る」という考え方の基礎となりました。

単 元 名	お菓子のパッケージを作ろう	
実 施 校	柏 市 立 豊 小 学 校	
学 年 / 教 科 等	第 6 学 年	家 庭 科
指 導 者	永 井 久 美 子	
総 授 業 数	1 時 間	

1. 単元について

(1) 設定の理由

子ども達が、日常的にお菓子を購入する際は、自分の好み、または価格のみによって選択を左右されている場合が少なくない。保護者の意識も子どものそれと類似しているというのが現状である。しかし、実際にお菓子の袋を注意深く観察すると、そこには、成分表や賞味期限他、取り扱い上の注意・ゴミの識別表示など、実にたくさんの情報が掲載されている。そこには、製造者の思いがぎっしり詰まっているともいえる。

本単元では、お菓子のパッケージに掲載されている情報の多さに意識を向けさせたい。そして、賢い消費者となるために、単なる味覚の好みや価格のみで判断されることのない幅広い視野で選択できることに気づかせたい。また、逆の立場となり、実際にパッケージをデザインすることで、企業の立場から消費者を意識させ、必要な情報を正しく発信することの意義を意識させたい。更に、今後の消費選択の際のひとつの道しるべとして、各々が考えていくきっかけ作りにしたいと考え、この単元を設定した。

(2) 目標

- ・お菓子の袋には、消費者が選択する際に、必要な情報がたくさん盛り込まれていることに気づく。
- ・お菓子製造会社の立場になり、情報を正しく掲載した魅力のあるパッケージ作りに挑戦する。

2. 指導計画 (1 時間)

お菓子のパッケージを作ろう。・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 (本時)

3. 本時

(1) 目標

- ・お菓子の袋には、消費者が選択する際に、必要な情報がたくさん盛り込まれていることに気づく。
- ・お菓子製造会社の立場になり、情報を正しく掲載した魅力のあるパッケージ作りに挑戦する。

(2) 消費者教育の視点

- ・お菓子の袋に書かれている情報の多さに気づき、今後、お菓子他物品を購入する時の参

考にすることができる。

- ・お菓子のパッケージに、必要な情報を掲載して図案を考えることができる。

(3) 展開

時配 (分)	指導内容・学習活動	指導上の留意点 (■消費者教育の視点・◎評価)	備考
10	1, 本字の学習のめあてを知る。 お菓子のパッケージを作ろう	* 今までのお菓子を買う時の視点を確認する。 * 今日は、お菓子会社の新入社員になったと仮定し、新商品を売り出すという設定を伝える。	お菓子
10	2, 何も書いてない袋の中のお菓子を全員で試食する。	* 3種類の食感(あまり食べたことのないポテトチップ)を味わわせ、学習への意欲付けとさせる。	
10	3, お菓子の袋にはどんなことが書かれているのかを考える。 ・賞味期限 ・ゴミの種類 ・会社の住所 ・製造日 ・原材料 ・キャッチコピー ・保存方法 ・フリーダイヤル ・取扱上の注意 ・内容量	* どんなことを袋に掲載したらよいかを調べさせる。 ■ 実際の袋を観察することで、お菓子の袋に書かれている情報量の多さや多様さに気づく。	お菓子の袋のコピー
	4, お菓子の袋にこめられた製造者の思いを考える。	* 種類の違うお菓子の袋を比較して製造会社の思いが袋に反映されていることを知る。 ◎ 袋に描かれている内容や製造者の思いに気づくことができたか。(発表)	複数のお菓子の袋のコピー
20	5, 試食して気に入ったお菓子のパッケージをデザインする。	* パッケージを作るときに特徴を効果的に掲載するように支援する。 * 始めに食べた食感を思い出しながら、デザインやキャッチコピーをイメージさせる。 * 成分表は、あらかじめ用意したものを貼らせる。 ■ 製造者の立場となり、魅力あるパッケージを作る。	デザインをかく紙色鉛筆のりはさみ成分表のコピー

5	6, 作ったパッケージを紹介する。	◎自分なりに強調したい内容を、 パッケージ作りに反映することができたか。(デザインを描いた紙) ＊制作者の意図を考えながら紹介を聞くようにさせる。	実物投影機
---	-------------------	---	-------

4. 実践報告

(1) 児童生徒の様子・変容

子ども達の好きなお菓子を選び、しかも試食から導入したので、子ども達の取りかかりは良かった。ただ、試食は子どもの好みもあるので、あえて複数味を用意し、においから好みでない物は食べなくても良いことを伝えたが、大満足でほとんどの児童が3種類を試食した。今回は、牛タン味と納豆味と餃子味のポテトチップを用意した。学年全クラスで味を変えて実施した。授業参観に実施したので、保護者の方にも参加していただいた。

お菓子の袋を観察する前に子ども達に何が掲載されているかを聞いたところ、予想以上に知識を持っている子もいた。しかし、実際のお菓子の袋のコピーを見て実にたくさんの発見をした。袋がギザギザになっていることや、開け口の表示に至るまで、子どもの気づきは細部にわたり多かった。また、同じ商品でも、袋によって売り言葉や特徴の表し方の違いを再認識していた。

そして、その気づきが、特徴をうまく掲載しようとする子どものパッケージ作りの意欲にも繋がっていった。パッケージには、新キャラクターを作ったり、宣伝文句を書いたり、有名人もお勧めという言葉を書いたり子ども達の自由な発想が随所に見られた。最後に、このパッケージの商品なら買ってみたいかどうか、保護者の方にも伺い、自らのできに満足した児童も多かった。授業後、全員ができあがったところで、クラス内コンテストを実施した。子どもから、「本当にこの袋が商品化されるの?」という質問まで出された。

(2) 成果と課題

○成果

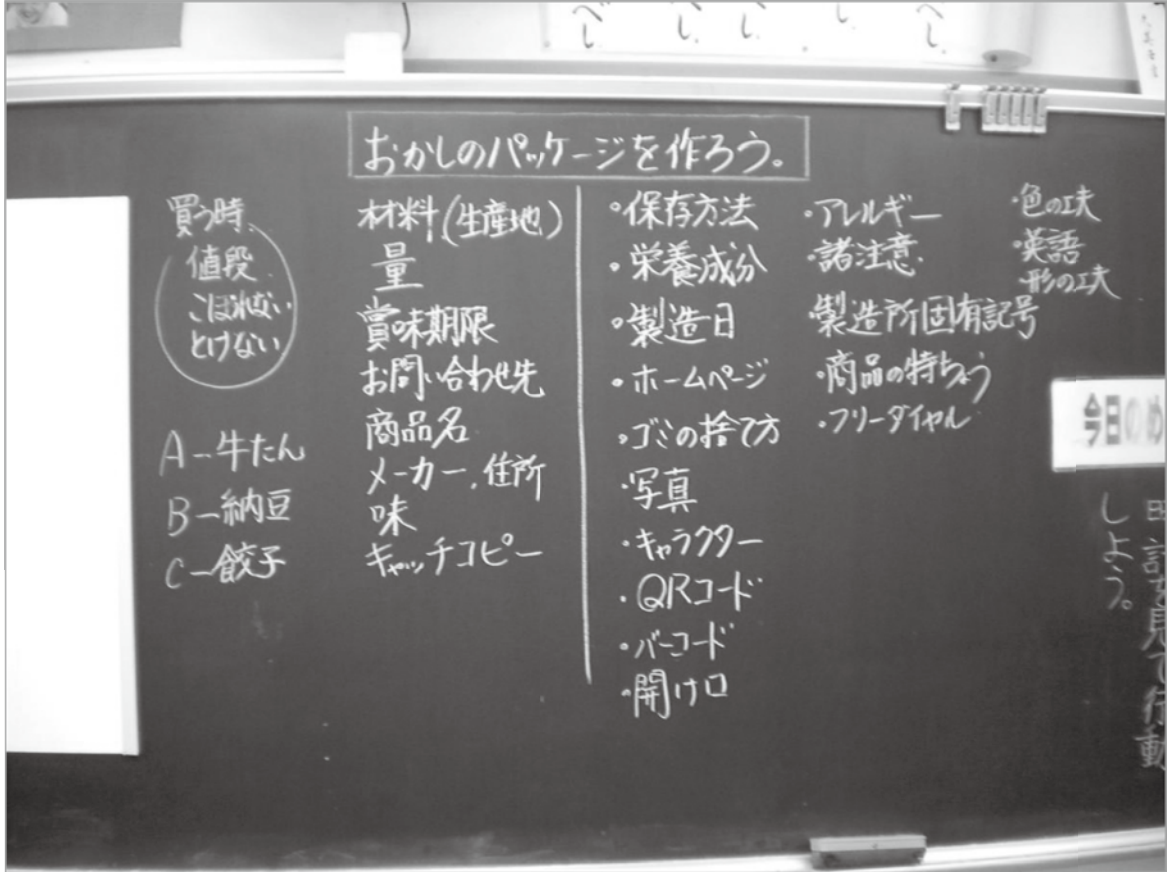
- ・パッケージに書かれている情報の多さを認識することができた。
- ・製造者の思いが袋にたくさん反映されていることに気がつくことができた。
- ・改めてポテトチップの材料や栄養成分を認識することができた。
- ・前半に気づいた情報を子ども達にコピーして切り貼りさせたのでそこで、制作者の立場として、商品に向き合えた。

○課題

- ・1時間の内容が盛りだくさんで1時間の中で書き終わらない児童が多かった。前半の情報の気づきの部分と、後半の作成部分とで2時間続きの授業にしてもいいと思った。
- ・内容量やゴミの種類など簡単な情報は、意識強化するために各自で記入させてもよいかとも思われる。

(3)使用教材・資料等

- 実際のお菓子のパッケージ
- 児童が気づいたこと（板書から）



○パッケージ作成アイテム

栄養成分表示(1袋58g当たり)			
エネルギー	321 kcal	炭水化物	31.9 g
たんぱく質	3.1 g	ナトリウム	255 mg
脂質	20.2 g	(食塩相当量)	0.5 g

名称	ポテトチップス
原材料名	じゃがいも(遺伝子組換えでない)、植物油、粉末しょうゆ(小麦・大豆を含む)、糖類(砂糖、麦芽糖)、食塩、デキストリン、かつおぶしエキスパウダー、はたてエキスパウダー、こんぶエキスパウダー(豚肉・鶏肉・乳糖を含む)、こんぶパウダー、みりんパウダー、粉茶粉、梅パウダー、鶏肉エキスパウダー、調味料(アミノ酸等)、香料、甘味料(ステビア、甘草)、酸味料、ムラサキトウモロコシ色素
内容量	58g
賞味期限	表面に記載
保存方法	直射日光の当たる所、高温多湿の所での保存は避けてください。
販売者	カルビー株式会社 〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-8-3 製造所固有記号はこの面の上部に記載

取扱いの注意：開封後はお早めにお召しあがりください。
 ●本品は卵、えび、かにを含む製品と共通の設備で製造しています。
 ●本品はバーム油と米油でフライしています。

お客様の声をおきかせください
 株式会社 お客様相談室
 〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-8-3
 フリーダイヤル 0120-55-8570
 受付時間 祝日を除く
 月曜日～土曜日 9:00～17:00

ホームページ
<http://www.calbee.co.jp/>
 ポテトチップス・ホームページ
<http://www.calbee-potatochips.com/>

PKU 2 PP (ポリプロピレン) PE (ポリエチレン) ごみに出す時は自治体の定める区分に従ってください。

今、あなたが手にされているポテトチップスのじゃがいも情報公開中!
 カルビーでは、ポテトチップスを、より安心して召しあがりいただけるよう、じゃがいもの産地・生産農家、工場に関するさまざまな情報を公開する取り組みをしています。

アクセス
 右記コードからこのページの情報へダイレクトにアクセスできます。下記アドレスから「じゃがいも丸ごと!」プロフィールトップにアクセスできます。
<http://www.calbee.co.jp/jagimol/> (パソコン・携帯)
 ※アクセスの際の通信料はお客様のご負担となりますので予めご了承ください。

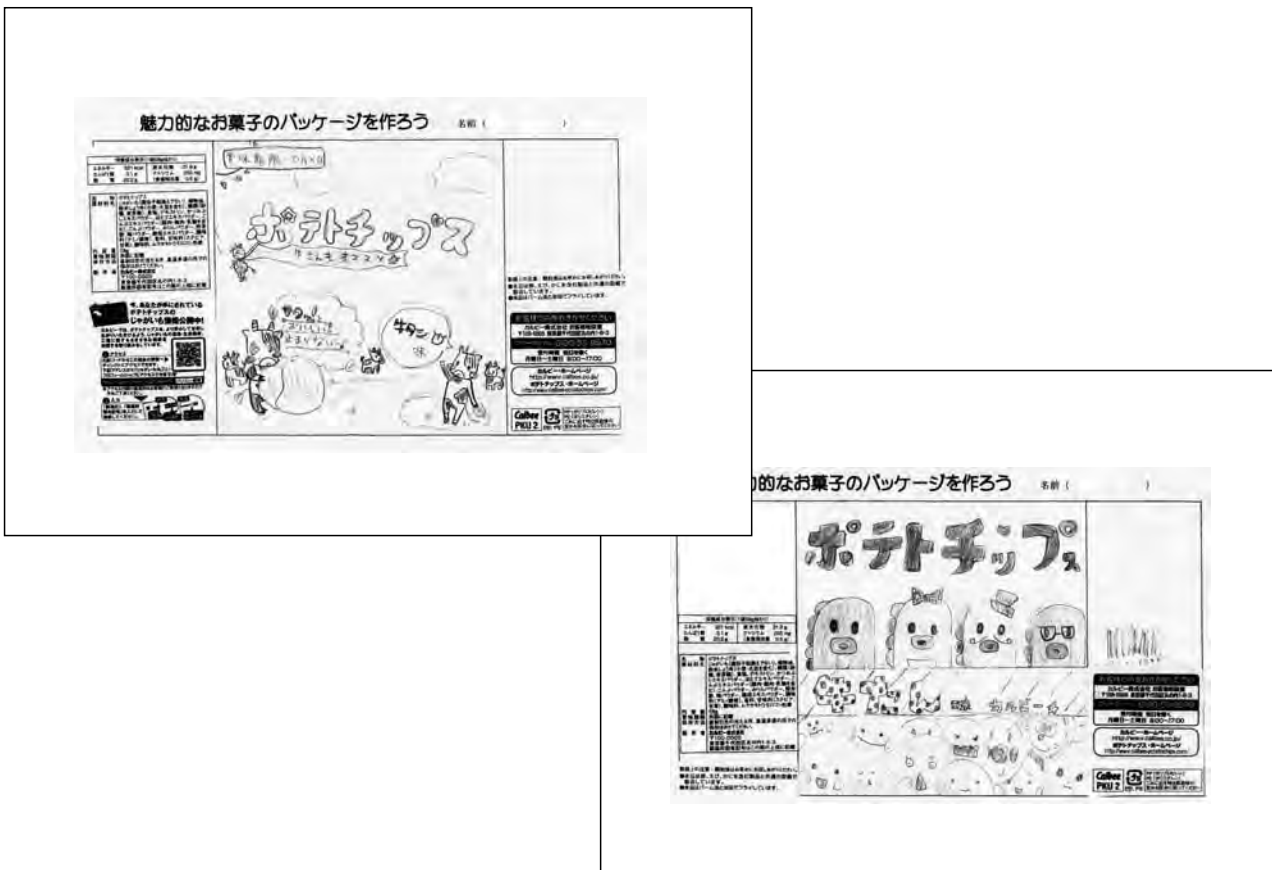
入力
 「製造日」、「製造所固有記号」を入力して検索してください。

○パッケージ制作ワークシート

魅力的なお菓子のパッケージを作ろう 名前 ()

--	--	--

○児童が作成したパッケージ



○授業の様子

情報のないポテトチップを食べてみる



消費者を引き付けるパッケージの作成



(4) 教育委員会から

家庭科の学習と「消費者教育」のタイアップです。お菓子のパッケージを自分で作るという、子どもにとって大変魅力のある内容となっています。子どもたちが知らせたい情報は、大人のそれとはひと味違い、ユニークな観点の楽しいパッケージが出来上がってきました。

このような活動を体験すると、今度お菓子を買う時に実際のパッケージの表示を注意深く見る力が育っていることでしょう。

(5) 消費生活センターから

消費者教育の体系化における「安全」領域での児童期の目標のひとつとして、食べ物を買うときに「表示を見ると大事なことが分かる」ことに気づき、興味を持つことがあげられています。本実践では、子ども達にとって大変に楽しい作業を通して、表示への興味と関心が高まったと思います。

国では、食品表示制度の一元化など、消費者にとって望ましい表示のあり方の検討を進めていますが、消費者としても、食品表示を上手に活用していくことが必要です。消費者として、どのような表示を求めているのかを発信し、よりよい商品選択が可能な社会を目指すことが求められています。

単元名	私たちにできることⅢ…東日本大震災から学ぶ（消費税について）	
実施校	柏市立風早北部小学校	
学年／教科等	第6学年	総合的な学習・社会
指導者	川成重隆	
総授業数	3時間	

1. 題材について

(1) 設定の理由

3. 11の東日本大震災について、1学期に「命の大切さ」を元に【復興のために自分たちに何ができるか】について学習した。時の経過とともに、少しずつ世間の関心が下火になってきたことはいなめない。9月の中旬に、昨年から続けている「1分間スピーチ」で“復興という名目で何もかも税金を上げようとしている気がします。何だか今勉強している江戸時代の『百姓は生かさぬように、殺さぬように』という考え方に似ている気がして、とつても不安です”という発表があった。これについて、賛否両論いろいろな意見が出た。そこで、もう一度【半年が過ぎ、

今自分たちができること】という課題で3時間授業を組み立てた。社会科の指導に「国家社会の発展に大きな働きをした先人の業績や優れた文化遺産について興味・関心と理解を深める。」また、「国家・社会の発展に大きく貢献した先人の業績や優れた文化遺産を中心とした歴史学習の重視。」という項目がある。これにより歴史学習が、ついつい支配者側の内容理解に偏る傾向があり、庶民や農民側からの歴史観の扱いが弱くなっている。

本来歴史を学ぶのは、歴史的事実を学ぶことで、現在我々の生活が成り立っているプロセスを知ることにより、歴史的事実に鑑みて、より良い生活、暮らしやすい世の中を作るにはどうしたらよいかを、自分の生活や社会情勢（ここで半年を経過した東日本大震災を題材に）に照らして考えたり、実践していこうという意欲を育てるものだと考え、今回の3時間の授業を考えてみた。自分たちが生きる将来の経済活動について、少しでも考える糧になればよいと思い(特に自分達に最も身近で協力できる税＝消費税)設定した。

(2) 目標

復興という名の増税の概要を知り、消費生活の中で一番身近な消費税について関心を持ち自分なりの考えを持つ。

※あえて統一的結論は出さない。

2. 指導計画

1	・ 現代の自分たちの生活に関係ある税について調べる。 (班活動)	1時間
2	・ 班毎にパネラーを出し、パネルディスカッションをする。	1時間
3 (本時)	・ 消費税について、意見交換をする。	1時間

3. 本 時

(1) 目 標

- ・ 国の収入を増やすための消費税率を上げるのか、復興に回す意図で上げるのかによって、自分の考えを持ち意見交換する。
- ・ 自分たちの将来の消費生活について関心を持つ。

(2) 消費者教育の視点

消費者教育の目的である、消費者としての 人間形成を促すことを目的に、自分を取り巻く環境からの情報を自己の内的世界に適切な形で位置づけ、新たな自己形成・自己創造の価値基盤を作る事の種まき（ちょっとした意識化）ができればと考える。

(3) 展 開 (3 / 3)

時配 (分)	指 導 内 容・学 習 活 動	指導上の留意点 (■消費者教育の視点・◎評価)	備 考
5	・ 前時の復習、確認をする	■自分たちの身近にある税について、より関心を持つ。 ・ 既習資料を提示しながら、補足及び考えを深める支援をする。	掲示物 DVD
10	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 復興を手助けする目的の消費税は、どういう形が良いのだろう。 </div> 資料 I 提示 ①消費税 5%のまま ②消費税 10% ③消費税 15% (期限付き…復興のために 5%確保) A案・B案	◎資料を基に、興味を持って実際の計算ができる。	日本の 輸入量 と割合
5	・ ①～③及びその他、自分なりの考えを書く。	◎理由づけをして、自分の意見が書ける。	
20	・ 発表する。(意見交換) ①消費税 5%のまま ・ 復興は分かるが、自分が家や大きいものを買う時は低い方が助かるから。 ・ ゲームやお菓子など日常的なものは 5%のままが助かる。	◎発表に理由付けがなされている。 ◎今後、自分の生活について率直に意見が言えているか。またそこに、復興のために 自分ができていることを考えて発言しているか。	

<p>5</p>	<p>② 10%に上げる 5%…今まで通り 5%…3～4年間東日本大震災の復興に使う。 (約30～40兆円)</p> <p>③ 10%に上げる 5%…今まで通り 3%…5年間東日本大震災の復興に使う。 (10.7×0.6=約6.4兆円) 30÷6.4=約4.7兆円 2%…将来のことを考え、社会福祉関係に使う。 (10.7×0.4=約4.3兆円) ※5年後東日本大震災復興がなったら、3%分を社会福祉関係に回し5%にする。 そうすると年間で (1.4+4.7=11.1 約11兆円) を回せば少しは若い世代が助かる。</p> <p>④ 15%に上げる 5%…今まで通り ※5%…3～4年間東日本大震災復興に使う。 5%…社会福祉関係に使う</p> <p>・感想を書き発表する</p>	<p>■将来的に(自分たちの生活=10年後)消費税はどうあって欲しいか、関心を持つ。</p> <p>※5%が終わったら (A案) 国の借金返済に回す (B案) 治療費をただにする等の福祉関係に回し、老後も安心して生活できるようにする。</p> <p>・2～3人</p>	
----------	---	--	--

4. 実践報告

(1) 児童生徒の様子・変容

この授業は3時間扱いですが、1学期の「生きる…谷川俊太郎」(3時間)から始まり、2学期の「今自分たちにできること…東日本大震災に寄せて」(3時間)の一連の流れで取り組んだ題材です。その根幹は東日本大震災にありました。

2学期の「今自分たちにできること」は、ちょっとした子どものつぶやき…「義援金って何に使ってるんだろう？」から始まりました。それを受けて、2学期の終わりに「復興増税や消費増税」のことが新聞やニュースを賑わしだしたとき、毎日の1分間スピーチで話題になり、この授業に繋がりました。

大きな変容は、①新聞やニュースを見るようになったこと。②国の政策や経済に少しずつ関心が高まってきたこと。③消費税や税制に関して調べる内に、社会福祉関係にまで広がり、将来の生活について考える子が出てきたことが上げられる。また付随的に、保護者の何人から子どもに生活やニュースの内容について聞かれることが多くなり、親子の会話が増えたとの連絡をいただき、嬉しく思いました。

○授業の様子

意見交換



授業の感想をまとめる



(2) 成果と課題

○ 成果

- ・ 東日本大震災に端を発し、詩を学習することで「生きる」事の大切さや普段の生活の中で大切にしなければいけないことを学んだ。それを通して、普段何気なく払っている消費税について、関心が高まったことがまず上げられる。タイムリーに増税案が出てきたことで、政治や政策を含め消費税の使い道について考えが深まった。
- ・ 家庭において、親や祖父母等家族と学校のこと以外に、実生活に関わる会話が増えた（数人の保護者からのお便り）ことで、買い物の仕方（広告や宣伝）など賢い消費者に繋がる耕しになっていること。

○ 課題

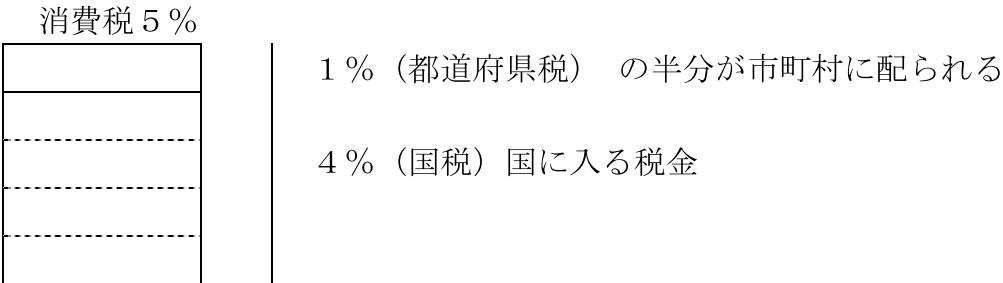
- ・ 消費税一つをとっても難しい内容なので、どこまで子ども達に伝え考えさせるか。その線引きと視点の持たせ方が難しい。また、政治的なことが絡んでくるので、教師の私的な意見は排除して、事実から思考させる手だてを考えることの難しさを感じた。
- ・ 今後、学習して芽生えた関心や興味を、学校や家庭の日常生活の中で、どう育んでいくか。また関心を繋げたり高めるための中学校との連携も、課題になってくると思われる。

(3)使用教材・資料等

- ・ 東日本大震災の VTR や新聞記事
- ・ 野田内閣の増税案の記事

【消費税とは？】

消費税は原則としてすべての商品やサービスの売上げを課税対象とし、消費一般に負担を求める**国税**。納税義務者は各段階の事業者で、課税の累積を排除するため、仕入・経費・資産購入などに含まれている消費税額を、売上げに対する消費税から控除する。**1989年4月**以降の取引から**3%**の税率で導入された。**97年4月**から税率が**4%**に上がり、同時に**地方消費税(都道府県税)1%**が導入され



【消費税での収入額】

消費税が日本に導入されてから21年、総額224兆円の税込、この間の法人税減税総額208兆円は何を示すのか。

世の中の経済の動きによって違いはありますが平均すると
 $224 \text{ 兆円} \div 21 \text{ 年} = \text{約} 10.7 \text{ 兆円}$ 1年間で約 10.7兆円

もし法人税減税208兆円を減税しなかったとしたら
 $(224 \text{ 兆円} + 208 \text{ 兆円}) \div 21 \text{ 年} = \text{約} 20.6 \text{ 兆円}$

東日本大震災の被害総額が14.6兆円といわれ、復興に**30兆円**かかるのではないかとの予想が出されています。

Q.さてこの数字を見て何か考えられるかな？

今までの消費税のまとめ

①過去21年間の1年平均消費税収入	約10.7兆円
②東日本大震災の被害総額	約14.6兆円
↓	
東日本大震災の復興総額（予測）	約30兆円
③国の社会福祉関係費用（2010年度）	約27兆5681億円
④今野田総理が言っている消費増税計画	
平成14年4月 8% → 平成15年10月 10%	

★みんなから出た消費税に関する意見分類

- ①現状維持の5% …所得税やその他の増税を受け入れる
- ②10%に上げる
- 5%…今ままで通り
 - 5%…3～4年間東日本大震災の復興に使う
(約30～40兆円)
- ③10%に上げる
- 5%…今ままで通り
 - 3%…5年間東日本大震災の復興に使う
 $10.7 \times 0.6 = \text{約} 6.4 \text{兆円}$
 $30 \div 6.4 = \text{約} 4.7$
 - 2%…将来のことを考えて社会福祉関係に使う
 $10.7 \times 0.4 = \text{約} 4.3 \text{兆円}$
- ※5年後東日本大震災復興がなったら、3%分を社会福祉関係に回し5%にする。そうすると年間で
 $1.4 + 4.7 = 11.1$ 約11兆円を回せば少しは若い世代が助かる。
- ④15%に上げる
- (A案)
- 5%…今ままで通り
 - 5%…3～4年間東日本大震災の復興に使う
(約30～40兆円)
 - 5%…社会福祉関係に使う
- ※終わったら、この5%を国の借金返済に回す
- (B案) ※終わったら、例えば0歳～18歳と65歳以上の人の治療費をただにするなど、国民が安心して暮らせる事を考えて使う。

(4) 教育委員会から

消費者教育を広義にとらえた素晴らしい取組です。「復興を支える消費税のありかた」…これは、今年日本を襲った大震災を機に、だれもがもう一度考え直さなければならぬテーマではないでしょうか。

生きることは人の役に立つこと、復興のためにできることを考え実行すること。この時間に本気で考えた子どもたちには、社会の仕組みについて感心をもつ種まきがされたことでしょう。

(5) 消費生活センターから

本実践は、一年間を通じた活動の一環であり、児童の変容を捉えて計画されました。消費税の仕組みは複雑ですが、子どもの小遣いでの買い物にも関わる身近な税です。また、震災からの復興については、学校や家庭でも話題となっていることでしょう。税金が社会のためにどのように使われるのか、現在、国の政策はどこに向かっているのかに関心を持つことは、子ども達にとって極めて大切なことです。消費者教育は、消費生活を通し、協力してより良い環境と社会を作っていくことを目指しています。

2 中学校での実践

単 元 名	職業について考えよう ～ 私たちの生活と職業 ～	
実 施 校	柏 市 立 田 中 中 学 校	
学 年 / 教 科 等	第 2 学 年	進路指導
指 導 者	高 橋 陽 基	
総 授 業 数	4 時 間	

1. 単元について

(1) 設定の理由

将来の夢や進路を考える過程において、職業や働くことについて理解することは、将来における社会的職業的自立を促す上でとても重要な課題となる。その中で、様々な職業の特色や環境、条件等について考えることは、職業情報を豊かにすることはもちろんのこと、将来の希望を具体化し、進路意識を高めることに大きくつながっていく。ここでは、職業の特色や環境、条件等を考えつつ、職業の理解と進路選択能力を高めていく。

(2) 目標

職業生活に対する理解を深め、適切な進路選択の能力を養う。

2. 指導計画

- (1) 私たちの生活と職業・・・・・・・・・・ 2 / 2時間（本時）
- (2) 体験したい職場を発見しよう・・・・・・ 1時間
- (3) 職場体験にチャレンジしよう・・・・・・ 1時間

3. 本時

(1) 目標

- ・職業や働くことについて考え、イメージを膨らませ、意欲の向上を図る。
- ・多様な職業の内容や特色等を考え、その職業の適性等について理解を深める。

(2) 消費者教育の視点

- ・職業について考え、情報を収集する。
- ・発表を通して職業の内容や特色を知る。

(3) 展開

時配 (分)	指導内容・学習活動	指導上の留意点 (■消費者教育の視点・◎評価)	備考
はじめ 5分	<p>1. 前時の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各自が選んだ職業について振り返る。 ・本時のテーマを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 職業について考えを深めよう </div>	<p>◎選んだ職業について再確認できたか。</p> <p>■テーマについて関心を持ち、職業の多様性についてイメージすることができたか。</p>	ワークシート
なか	<p>2. 班内で発表会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時に各自で求人情報誌より選択した職業を班内で発表しあう。 <p>3. 班で一つ職業を絞る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各自の発表から班で一番やってみたい職業を絞る。 ・絞り込んだ職業の特徴を掲示物に書き込み、黒板に貼る。 <p>4. 班ごとに発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職業の内容や特色をわかりやすいようにまとめ発表する。 	<p>■様々な特徴から職業を探しているか。</p> <p>◎職業について要点を得た発表になっているか。</p> <p>■友達と情報の交換をさせる。</p> <p>◎友達の発表を自分の内容と比較しながら聞いているか。</p> <p>◎真剣に話し合いに参加しているか。</p> <p>■様々な職業について理解を深める。</p> <p>◎発表を真剣に聞いているか。</p> <p>■職業の多様性を知ることができたか。</p>	ワークシート 求人情報誌 拡大ワークシート（掲示物）
まとめ 5分	<p>4. 職業について関心を深める</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の感想をまとめる。 ・疑問点などがあれば発表させる。 	<p>■職業の多様性を知ることの重要性に気付かせる。</p> <p>◎職業についての関心が高まったか。</p>	まとめの用紙

4. 実践報告

(1) 児童生徒の様子・変容

将来つきたい職業がまだ曖昧な中で、職業について考えることは、生徒にとって未知の世界ではあるが、進路を考える際には将来を見据えた進学先を検討することが大切である。そういう意味でも今回の授業は職業の多様性を知る良い機会となった。

就職情報誌の活用から授業に入ったこともあり、生徒の興味関心が高まり、様々な観点から職業を捉えることができたことは大きな収穫であった。生徒一人一人の選択した職業がほとんど重ならなかったことは、生徒の職業に対する興味関心の高さや選択の幅の広さを知ることができた。

今回の授業を通して、職業の多様性について知ることができ、これから行われる職場体験学習に向けての意識の高まりと将来の職業選択の一助になればと考える。

(2) 成果と課題

○ 成果

- ・ 普段私たちが接している職業はごく少数で、世の中には多種多様な職業があることに気づき、驚きと発見があった。
- ・ 職業の中には資格を必要とする職業も多く、その資格を取得するための勉強をしなければならぬことを知ることができた。
- ・ 一人一人の選んだ職業が違うことを知り、職業に対する興味関心や考え方の違いがわかった。
- ・ 発表を通して職場体験へ向けての考え方が深まった。
- ・ 自分が今まで考えていた、楽しいとかおもしろいだけでは仕事は勤まらない事を知り、職場体験に向けて改めて考えを深めることができた。
- ・ 将来に向けて目標を持てるようになった。

○ 課題

- ・ やりたい職業がイコール自分の将来の職業に結びつくことが可能なのか不安になった生徒もいた。
- ・ ほぼ100%が進学のため、どうしても目先の進路に目がいてしまい、将来の職業まで考える余裕がなくなっている。授業の中でも取り上げることが少なく、進学一辺倒の進路指導になっている。
- ・ 職業の多様性について学習する機会が必要である。

(3) 使用教材・資料等

私の職業選択

添付欄	
事業所名	
募集形態	
職 種	
給 与	
仕事内容	
時 間	
休 日	
資格や条件	
待 遇	
勤務地	
応 募	
事業内容 会社内容 他	
選択した理由	

職業について考えてみよう（まとめ）

2年1組 氏名_____

Q. 多くの職業について理解を深めることができましたと思います。各班の発表を聞いてどのような感想を持ち、また、今後の職場体験にどう活かしていきますか。

班発表掲示物

職業について考えてみよう 1 班

事業所名	有楽町「東京宝塚劇場」	資格や条件	長期できる方
職業形態	アルバイト・契約社員	待遇	制服貸与
職種	劇場業務企画・運営	勤務地	「東京宝塚劇場」
給与	時給1000円以上	応募	履歴書持参
仕事内容	チケット切り、案内整理等	事業内容 会社内容	劇場業務全般
時間	週4~5日勤務	この職業を選んだ理由	この仕事が良いと思、てみんなにも知、てもいいから
休日			

職業について考えてみよう 2 班

事業所名	有限会社 ササキ工務店	資格や条件	普通免許所持
職業形態	正社員	待遇	交通費支給
職種	主任大工	勤務地	都内近郊
給与	日給1万2000円~	応募	TEL履歴書持参
仕事内容		事業内容 会社内容	
時間	8:00~18:00	この職業を選んだ理由	大工に志がまわった時に待遇と条件が良かったので選んだ。家との距離も近いので通勤が楽な点も良かったから。
休日	日、祝日、GW 夏季 est		

職業について考えてみよう 4 班

事業所名	ペットショップ トリマー	資格や条件	未経験の方 要資格・重普通免許
職業形態	? パート	待遇	交通費全額支給、社員登用あり 100通書OK
職種	トリマー	勤務地	東京都足立区綾瀬4-8-6
給与	時給830円以上	応募	わかんない
仕事内容	ペットのヘアアレンジ する	事業内容 会社内容	わかんない
時間	9:00~22:30	この職業を選んだ理由	ペットが大好きだから、あと、ヘアアレンジとかするのが好きだから、楽しいと思う。
休日	わかんない		

職業について考えてみよう 3 班

事業所名	(株) R.T.C	資格や条件	高卒以上
職業形態	求大誌 パート/アルバイト	待遇	昇給 交通費全額支給 制服 食事補助
職種	総合飲食業	勤務地	日本橋高島屋SF
給与	時給1000円以上	応募	電話後、履歴書持参
仕事内容	接客注文案内等	事業内容 会社内容	調理任込 盛付、洗い物 など補助業務
時間	9:00~20:00 通3日以上	この職業を選んだ理由	飲食店で働けたらいいから。交通費、時給が安定しているから。
休日	時間 曜日調整可能		

職業について考えてみよう 5 班

事業所名	医療法人社団 隆樹会 木村クリニック	資格や条件	免許
職業形態	セ・ル・ヤ・イン	待遇	交通費2万円迄支給
職種	医療	勤務地	王子神谷駅徒歩2分
給与	時給1050円以上	応募	電話
仕事内容	7/17の選い	事業内容 会社内容	クリニックの運営
時間	8:30~20:00・8:30~13:00	この職業を選んだ理由	人に優しい医療を目指したいから。いろんな人に対して平等に接する事ができてすごいと思ったから。
休日	完週休2(土日)		

職業について考えてみよう 6 班

事業所名	株式会社三省堂店 有楽町店	資格や条件	高卒上
職業形態		待遇	交通費補助有、 制服貸与、書籍割引有
職種	店員	勤務地	千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館1.2階
給与	時給900円~960円	応募	電話後、履歴書持参
仕事内容	レジ、接客	事業内容 会社内容	
時間	14:10~22:20 (週5出来る方)	この職業を選んだ理由	本が好きなから、どこに何があるかわかっている店員がすごいと思ったから。
休日	週休2日		

授業後の感想

職業について考えてみよう（まとめ）

2年1組 氏名 [redacted]

Q. 多くの職業について理解を深めることができたと思います。各班の発表を聞いてどのような感想を持ち、また、今後の職場体験にどう活かしていきますか。

身近な職業から難しそうな職業まで、それぞれ
 特長や強みがあり、共感できるものがありました。

特に飲食店で働くというのは、小さい頃から
 メニューを作る仕事に興味があって、今でもやるの
 と思います。

職業について考えてみよう（まとめ）

2年1組 氏名 [redacted]

Q. 多くの職業について理解を深めることができたと思います。各班の発表を聞いてどのような感想を持ち、また、今後の職場体験にどう活かしていきますか。

いろんな職業があることを改めて思った。クラスの中で
 いろんな職業がまなぶ人がほとんどいることにおどろ
 いた。将来はクラスみんながわかれてそれぞれの道に進むのだな
 と思いました。自分の好きな職業を見つけるように今からい
 いろな職業を知り、好きな職業を目指してがんばりたいと思っ
 てるためにも、今回の職場体験は貴重な時間だったと思
 います。積極的に話さずして、職場の環境などいろいろ学ば
 たいと思います。

職業について考えてみよう（まとめ）

2年1組 氏名 [redacted]

Q. 多くの職業について理解を深めることができたと思います。各班の発表を聞いてどのような感想を持ち、また、今後の職場体験にどう活かしていきますか。

たくさんのお仕事があり、それぞれ違うやり方、職
 業があるんだなと思いました。ほとんどの職業が
 高校卒業したらなので、高校を卒業してない人達は
 入れる所が少なくてすごい大変だなと思いました。

私が入りたいのは食べるところなので
 そこそ目指してがんばって入りたいです。

職業について考えてみよう（まとめ）

2年1組 氏名 [redacted]

Q. 多くの職業について理解を深めることができたと思います。各班の発表を聞いてどのような感想を持ち、また、今後の職場体験にどう活かしていきますか。

職業の重要度は多くて、やっぱり仕事は何回かある
 が、それを一つにしていくのは難しい事かと思った。

職業は自分の好きなものを強みとしているけど、
 逆に自分のにかがちな職業もやってみようと思う。
 職場体験の機会をこれから活かすか、どうにかが
 ちなこと、得意なことなどをおさつていけるので、
 がんばりたい。

(4) 教育委員会から

消費生活において、収入をどのように獲得するかはとても大切な観点です。

はじめは漠然とした印象や夢で職業を選んでいく生徒たちが、勤務条件、時給などを比較検討し始め、次第に具体的な職業観を獲得していく流れとなっています。本時の授業や職場体験を通して、将来の夢を持ち、その夢が現実的な目標となり、その目標に向かって今何をしたらいいかを考え始める。目の前の進路選択に大きな影響を与える授業となりました。

消費者教育とキャリア教育を融合させた、斬新な取組です。

(5) 消費生活センターから

消費者教育とキャリア教育は密接に結びついています。働くことには様々な意味がありますが、生活のための金銭を得ることはそのひとつです。自分の望むライフスタイルに合わせて収入の額や就業条件を考慮し、職業を選択する必要がありますが、反対に、収入に応じた消費スタイルを考える必要もあります。本実践は、将来の生活設計、生涯設計を考える上での基礎となります。

また、キャリア教育は、様々な職業の内容や企業側の立場を知ることによって、職業を通してどのように社会に貢献していくのかを考えるきっかけとなります。企業と消費者が、一層信頼し合える社会の実現が待たれます。

実践プラン

単 元 名	2 乗に比例する関数 ～金利を考える～	
実 施 校	柏 市 立 松 葉 中 学 校	
学 年 / 教 科 等	第 3 学 年	数 学 科
指 導 者	直 井 一 士	
総 授 業 数	1 5 時 間	

1. 単元について

(1) 設定の理由

ともすれば数学は、実生活にあまり関わりがないと生徒に言われがちな教科であるが、そうではないことを本単元の中で認識させたい。近年報道等で金利に関する関心が高まりを見せ、数学科としても計算結果を比較しやすい単元である。

発展として、金利についての正しい知識を身につけ、人生設計の一助としたい。

(2) 目標

- 身近な事象の中にくともなって変わる2つの数量を見出し、実験や調査を通して、その関係を考察しようとする。(関心・意欲・態度)
- 身近な事象を、関数を用いて考察し、その結果を振り返って考えることができる。(数学的思考力)
- 関数の式、表、グラフを用いて具体的な事象を表し、その意味を読み取れる。(数学的表現処理)

2. 指導計画 (1時間)

2 乗に比例する関数	3	定義、式判別
関数のグラフ	4	グラフの描き方、特徴
関数の値の変化	3	変化の割合、定義域
関数の利用	2	日常生活での利用
問題練習	1	問題練習による定着
いろいろな関数	2 (本時 1/2)	第4章の発展学習として

3. 本時

(1) 目標

- 身近な「金利」を扱うことで、日常に使われる数学を意識させる。
- 金利計算をすることで、関数学習に対する精神的敷居を下げる。

利用HP <http://kawagoe.or.jp/tools/calc.htm> 川越商工会議

(返済シュミレーション)

(2) 消費者教育の視点

- 借金時に利息はつきもので、利息計算方法は2通りあることを認識させる。
- 単利、複利それぞれの特徴を、計算することにより実感する。それにより、安易に借金をつくらない姿勢を身につけさせる。

(3) 展開

時配 (分)	指導内容・学習活動	指導上の留意点 (■消費者教育の視点・◎評価)	備考
10	<p>[課題]</p> <p>1000 円を 10 年借りたら、10 年後にいくら返さねばならないか計算しよう (利息はいくらかと質問されたら) 利息は計算しやすい月 10%としよう (各自計算を進める)</p> <p>1000 円の 10%=100 円が 10 年 =120 ヶ月だから、$100 \times 120 = 12000$ 円 これに元金の 1000 円分も合わせて、 13000 円返せばよい</p> <p><定義></p> <p>利息には 2 種類ある。一つは「単利」</p>	<p>■単利と複利には触れない</p> <p>◎単利計算を最大限尊重する (関心・意欲・態度)</p> <p>◎元利計算を的確に処理したか (表現処理)</p> <p>■本来, 銀行預金を引き出されぬための手法である</p> <p>■$72 \div \text{利息} \div \text{元利}$が 2 倍になる期間と知られている</p> <p>◎演繹的に 1.1^x を想起できたか (思考力・表現処理)</p>	<p>計算する表を配布</p>
5	<p>元本だけに利息をかける計算方法 もう一つは「複利」 元本と利息両方に利息をかける</p>		
20	<p>[課題]</p> <p>複利で 1000 円を 10%で 10 年借りたら、10 年後はいくら返さねばならないか計算しよう</p> <p>(3 ヶ月後を例示する)</p> <p>1 月後 $1000 \text{ 円} \times 10\% = 1100 \text{ 円}$ 2 月後 $1100 \text{ 円} \times 10\% = 1210 \text{ 円}$ 3 月後 $1210 \text{ 円} \times 10\% = 1331 \text{ 円}$ (12 月で 3138 円程度計算を進め)</p>		
10	<p>PC 計算を提示する</p> <p>120 月後は 9270 万 9069 円になる 単利との差は 9269 万 6069 円</p> <p>1000 万円を 2.5%10 年間借りたときの返済額は、プリントのように計算される (銀行などから貰える 91128 万 8319 円となる)</p>		
5	<p>[まとめ]</p> <p>本時のまとめをする</p>		

PC 計算表 (単利・複利比較)

月	1,000			10			1.1		
	元本	利息	単利	利息	元利	複利	利息	元利	元利差
1	1,000	10	1.1	100	1,100	1.1	100	1,100	-
2	1,000	10	1.1	100	1,200	1.1	210	1,210	10
3	1,000	10	1.1	100	1,300	1.1	331	1,331	31
4	1,000	10	1.1	100	1,400	1.1	464	1,464	64
5	1,000	10	1.1	100	1,500	1.1	611	1,611	111
6	1,000	10	1.1	100	1,600	1.1	772	1,772	172
7	1,000	10	1.1	100	1,700	1.1	949	1,949	249
8	1,000	10	1.1	100	1,800	1.1	1,144	2,144	344
9	1,000	10	1.1	100	1,900	1.1	1,358	2,358	458
10	1,000	10	1.1	100	2,000	1.1	1,594	2,594	594
11	1,000	10	1.1	100	2,100	1.1	1,853	2,853	753
12	1,000	10	1.1	100	2,200	1.1	2,138	3,138	938
13	1,000	10	1.1	100	2,300	1.1	2,452	3,452	1,152
14	1,000	10	1.1	100	2,400	1.1	2,797	3,797	1,397
15	1,000	10	1.1	100	2,500	1.1	3,177	4,177	1,677
16	1,000	10	1.1	100	2,600	1.1	3,595	4,595	1,995
17	1,000	10	1.1	100	2,700	1.1	4,054	5,054	2,354
18	1,000	10	1.1	100	2,800	1.1	4,560	5,560	2,760
19	1,000	10	1.1	100	2,900	1.1	5,116	6,116	3,216
20	1,000	10	1.1	100	3,000	1.1	5,727	6,727	3,727
21	1,000	10	1.1	100	3,100	1.1	6,400	7,400	4,300
22	1,000	10	1.1	100	3,200	1.1	7,140	8,140	4,940
23	1,000	10	1.1	100	3,300	1.1	7,954	8,954	5,654
24	1,000	10	1.1	100	3,400	1.1	8,850	9,850	6,450
25	1,000	10	1.1	100	3,500	1.1	9,835	10,835	7,335
26	1,000	10	1.1	100	3,600	1.1	10,918	11,918	8,318
27	1,000	10	1.1	100	3,700	1.1	12,110	13,110	9,410
28	1,000	10	1.1	100	3,800	1.1	13,421	14,421	10,621
29	1,000	10	1.1	100	3,900	1.1	14,863	15,863	11,963
30	1,000	10	1.1	100	4,000	1.1	16,449	17,449	13,449
31	1,000	10	1.1	100	4,100	1.1	18,194	19,194	15,094
32	1,000	10	1.1	100	4,200	1.1	20,114	21,114	16,914
33	1,000	10	1.1	100	4,300	1.1	22,225	23,225	18,925
34	1,000	10	1.1	100	4,400	1.1	24,548	25,548	21,148
35	1,000	10	1.1	100	4,500	1.1	27,102	28,102	23,602
36	1,000	10	1.1	100	4,600	1.1	29,913	30,913	26,313
37	1,000	10	1.1	100	4,700	1.1	33,004	34,004	29,304
38	1,000	10	1.1	100	4,800	1.1	36,404	37,404	32,604
39	1,000	10	1.1	100	4,900	1.1	40,145	41,145	36,245
40	1,000	10	1.1	100	5,000	1.1	44,259	45,259	40,259
41	1,000	10	1.1	100	5,100	1.1	48,785	49,785	44,685
42	1,000	10	1.1	100	5,200	1.1	53,764	54,764	49,564
43	1,000	10	1.1	100	5,300	1.1	59,240	60,240	54,940
44	1,000	10	1.1	100	5,400	1.1	65,264	66,264	60,864
45	1,000	10	1.1	100	5,500	1.1	71,890	72,890	67,390
46	1,000	10	1.1	100	5,600	1.1	79,180	80,180	74,580
47	1,000	10	1.1	100	5,700	1.1	87,197	88,197	82,497
48	1,000	10	1.1	100	5,800	1.1	96,017	97,017	91,217
49	1,000	10	1.1	100	5,900	1.1	105,719	106,719	100,819
50	1,000	10	1.1	100	6,000	1.1	116,391	117,391	111,391
51	1,000	10	1.1	100	6,100	1.1	128,130	129,130	123,030
52	1,000	10	1.1	100	6,200	1.1	141,043	142,043	135,843
53	1,000	10	1.1	100	6,300	1.1	155,247	156,247	149,947
54	1,000	10	1.1	100	6,400	1.1	170,872	171,872	165,472
55	1,000	10	1.1	100	6,500	1.1	188,059	189,059	182,559
56	1,000	10	1.1	100	6,600	1.1	206,965	207,965	201,365
57	1,000	10	1.1	100	6,700	1.1	227,762	228,762	222,062
58	1,000	10	1.1	100	6,800	1.1	250,638	251,638	244,838
59	1,000	10	1.1	100	6,900	1.1	275,801	276,801	269,901

月	元本	利息	单利	利息	元利	複利	利息	元利	元利差
60	1,000	10	1.1	100	7,000	1.1	303,482	304,482	297,482
61	1,000	10	1.1	100	7,100	1.1	333,930	334,930	327,830
62	1,000	10	1.1	100	7,200	1.1	367,423	368,423	361,223
63	1,000	10	1.1	100	7,300	1.1	404,265	405,265	397,965
64	1,000	10	1.1	100	7,400	1.1	444,792	445,792	438,392
65	1,000	10	1.1	100	7,500	1.1	489,371	490,371	482,871
66	1,000	10	1.1	100	7,600	1.1	538,408	539,408	531,808
67	1,000	10	1.1	100	7,700	1.1	592,349	593,349	585,649
68	1,000	10	1.1	100	7,800	1.1	651,683	652,683	644,883
69	1,000	10	1.1	100	7,900	1.1	716,952	717,952	710,052
70	1,000	10	1.1	100	8,000	1.1	788,747	789,747	781,747
71	1,000	10	1.1	100	8,100	1.1	867,722	868,722	860,622
72	1,000	10	1.1	100	8,200	1.1	954,594	955,594	947,394
73	1,000	10	1.1	100	8,300	1.1	1,050,153	1,051,153	1,042,853
74	1,000	10	1.1	100	8,400	1.1	1,155,269	1,156,269	1,147,869
75	1,000	10	1.1	100	8,500	1.1	1,270,895	1,271,895	1,263,395
76	1,000	10	1.1	100	8,600	1.1	1,398,085	1,399,085	1,390,485
77	1,000	10	1.1	100	8,700	1.1	1,537,993	1,538,993	1,530,293
78	1,000	10	1.1	100	8,800	1.1	1,691,893	1,692,893	1,684,093
79	1,000	10	1.1	100	8,900	1.1	1,861,182	1,862,182	1,853,282
80	1,000	10	1.1	100	9,000	1.1	2,047,400	2,048,400	2,039,400
81	1,000	10	1.1	100	9,100	1.1	2,252,240	2,253,240	2,244,140
82	1,000	10	1.1	100	9,200	1.1	2,477,564	2,478,564	2,469,364
83	1,000	10	1.1	100	9,300	1.1	2,725,421	2,726,421	2,717,121
84	1,000	10	1.1	100	9,400	1.1	2,998,063	2,999,063	2,989,663
85	1,000	10	1.1	100	9,500	1.1	3,297,969	3,298,969	3,289,469
86	1,000	10	1.1	100	9,600	1.1	3,627,866	3,628,866	3,619,266
87	1,000	10	1.1	100	9,700	1.1	3,990,753	3,991,753	3,982,053
88	1,000	10	1.1	100	9,800	1.1	4,389,928	4,390,928	4,381,128
89	1,000	10	1.1	100	9,900	1.1	4,829,021	4,830,021	4,820,121
90	1,000	10	1.1	100	10,000	1.1	5,312,023	5,313,023	5,303,023
91	1,000	10	1.1	100	10,100	1.1	5,843,325	5,844,325	5,834,225
92	1,000	10	1.1	100	10,200	1.1	6,427,757	6,428,757	6,418,557
93	1,000	10	1.1	100	10,300	1.1	7,070,633	7,071,633	7,061,333
94	1,000	10	1.1	100	10,400	1.1	7,777,796	7,778,796	7,768,396
95	1,000	10	1.1	100	10,500	1.1	8,555,676	8,556,676	8,546,176
96	1,000	10	1.1	100	10,600	1.1	9,411,344	9,412,344	9,401,744
97	1,000	10	1.1	100	10,700	1.1	10,352,578	10,353,578	10,342,878
98	1,000	10	1.1	100	10,800	1.1	11,387,936	11,388,936	11,378,136
99	1,000	10	1.1	100	10,900	1.1	12,526,829	12,527,829	12,516,929
100	1,000	10	1.1	100	11,000	1.1	13,779,612	13,780,612	13,769,612
101	1,000	10	1.1	100	11,100	1.1	15,157,674	15,158,674	15,147,574
102	1,000	10	1.1	100	11,200	1.1	16,673,541	16,674,541	16,663,341
103	1,000	10	1.1	100	11,300	1.1	18,340,995	18,341,995	18,330,695
104	1,000	10	1.1	100	11,400	1.1	20,175,195	20,176,195	20,164,795
105	1,000	10	1.1	100	11,500	1.1	22,192,814	22,193,814	22,182,314
106	1,000	10	1.1	100	11,600	1.1	24,412,195	24,413,195	24,401,595
107	1,000	10	1.1	100	11,700	1.1	26,853,515	26,854,515	26,842,815
108	1,000	10	1.1	100	11,800	1.1	29,538,966	29,539,966	29,528,166
109	1,000	10	1.1	100	11,900	1.1	32,492,963	32,493,963	32,482,063
110	1,000	10	1.1	100	12,000	1.1	35,742,359	35,743,359	35,731,359
111	1,000	10	1.1	100	12,100	1.1	39,316,695	39,317,695	39,305,595
112	1,000	10	1.1	100	12,200	1.1	43,248,465	43,249,465	43,237,265
113	1,000	10	1.1	100	12,300	1.1	47,573,411	47,574,411	47,562,111
114	1,000	10	1.1	100	12,400	1.1	52,330,852	52,331,852	52,319,452
115	1,000	10	1.1	100	12,500	1.1	57,564,038	57,565,038	57,552,538
116	1,000	10	1.1	100	12,600	1.1	63,320,541	63,321,541	63,308,941
117	1,000	10	1.1	100	12,700	1.1	69,652,696	69,653,696	69,640,996
118	1,000	10	1.1	100	12,800	1.1	76,618,065	76,619,065	76,606,265
119	1,000	10	1.1	100	12,900	1.1	84,279,972	84,280,972	84,268,072
120	1,000	10	1.1	100	13,000	1.1	92,708,069	92,709,069	92,696,069

(4) 教育委員会から

正確なデータを基にして生徒の関心をひく、数学の先生ならではの授業です。驚くべき金利の仕組みとその数字には、中学生のみならずわれわれ大人も身の引き締まる思いがします。

生徒が、日常生活で実際に借金をすることはまだありませんが、この授業をきっかけに、家庭で話題としたり将来の意識改革としたりすることをねらいました。

(5) 消費生活センターから

預金、借金、分割払い、リボルビング払いなど、様々な場面で「金利」のパーセンテージを目にします。しかし、大人であっても「金利計算」を正確に行わず、感覚的に捉えていることが少なくありません。中学生では、実生活で金利のつく取引をする機会はまずありませんが、その計算は中学生までの学習で充分対応が可能です。「生活に活かせる数学」として、早い段階から金利について実感させることは、大変に有効です。

金利計算について、健全な金銭感覚を持って捉え、生活に活かす力は、自立した消費者として必要不可欠です。

3 高等学校での実践

単 元 名	自立して生きる 一人暮らしの住まい選び	
実 施 校	柏市立柏高等学校	
学 年 / 教 科 等	第 2 学 年	家庭科
指 導 者	教 諭 春 日 及 子	
総 授 業 数	6時間で計画したが、2時間しか実施することができなかった	

1. 単元について

(1) 設定の理由

高校で家庭科を指導するにあたって、「生活を総合的にとらえる」視点から、常日頃から『住生活』について、実験・実習を効果的に取り入れた題材の工夫の必要性を感じてきた。生徒の興味・関心は、どうしても『食分野』に偏る傾向があり、授業でも食分野の学習時間が多くなるのが現状である。先日、生徒が「3LDKって、LDKが3つずつあることだよな。」と言っているのを耳にした。こちらから「礼金・敷金って何か知っている人？」という問いかけをしたところ、ほとんどの生徒が「敷金・礼金ゼロ」という広告のキャッチコピーは耳にしたことがあると答えたが、その意味はわからないと答えた。この生徒たちは、1年時に消費者教育の中で『契約』について学んでいる。しかし、人の一生とのかかわりの中で、住生活における『契約』は、身近なものとして捉えられていないようである。

近い将来、高校で学んだことを生活の中で総合的にとらえ、生かしていく力を身につけさせたいと思い、この単元を設定した。

(2) 目 標

- ・ 将来の生活スタイルを考え、自立した住生活の基本を学ぶ。
- ・ 住生活に関する広告や情報誌、インターネットなどから適切な情報選択能力を身に付ける。
- ・ 賃貸住宅の「契約」について学び、意志決定能力を養い、安易な契約によるトラブルを防ぐ力を身に付ける。

2. 指導計画

- 1 生き方や進路に合わせた住生活を考える・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 2 一人暮らしの部屋を探す・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4 (本 時)

3. 本 時

(1) 目 標

- ・ 住生活における「契約」に関わる消費者問題について理解させるとともに、主体的に意志決定する能力を身につけることができるようにする。
- ・ 一人暮らしの快適な住まいの条件を考え、それらを満たすような空間設計の重要性を気づかせると同時に、多くの情報から適切な情報を選択できるようにする。

(2) 消費者教育の視点

- ・ 賃貸住宅などの契約トラブルについて知り、正しい知識を身につけさせ、主体的に物件選びができる力を身につける。
- ・ 自ら生活する住居選びを通して、自立した生活を送ろうとする意識を高める。

(3) 展 開

時配 (分)	指導内容・学習活動	指導上の留意点 (■消費者教育の視点・◎評価)	備考
5	・ 賃貸住宅契約等に関する Y e s / N o クイズを解く。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実際に自分が一人暮らしをする設定であることを知らせ、クイズを通して自分だったらどうするかを考えさせる。 ・ 賃貸住宅契約時の注意点を理解させる。 	ワークシート①
15	・ クイズの解答から、賃貸住宅契約時の注意事項を知る。		<ul style="list-style-type: none"> ・ 住宅広告中の語句や間取図の見方について説明し、理解させる。 ・ 消費者として、適切な判断ができるように、様々な物件を用意し、比較検討できるようにする。
25	・ 賃貸住宅広告・間取図の見方を知る。	◎自立して生きていくための基礎的な知識を身につけることができたか。	
5	・ 実際の賃貸住宅広告を見た感想を聞く。		

4. 実践報告

(1) 生徒の様子・変容

- ・ 経済的な負担がかかることに驚く生徒が多かった。
- ・ 契約に関しては、昨年度学習したこともあり慎重にクイズに答える姿勢が見られた。

(2) 成果と課題

○成 果

初めから授業時間が6時間確保できないことがわかっていた上での実施だったため、実際に物件選びまで展開できずに終わってしまった。わずか2時間の授業ではあったが、生徒からは「敷金がゼロ円だったたら、破損したときや家賃が払えなかった時はどうなるんだろう」「一人ぐらしって思っているほど簡単ではないし、お金がかかるんだ」などたくさん感想や疑問がでてきた。生徒にとって、住居については未知な部分が多いため、基本的な内容だけでも学習できたことはプラスになったと考えられる。また、『ひとり暮らしのサポートブック』等の書籍にも関心を示す生徒が多く見られた。

○課 題

『衣』や『食』に比べて『住』に関しては、学習時間が短くなりがちであり、生徒の知識もほとんどないことがわかり、この分野の学習の必要性を強く感じた。携帯電話で簡単に住居探しができるしまう今日だからこそ、生徒に適切な知識や意志決定能力を身に付けさせたい。

(3) 使用教材・資料等

『幸せ！ひとり暮らし完全サポートBOOK』

主婦と生活社 2003年3月20日発行

『ひとり暮らしをはじめの本』

成美堂出版 2007年2月16日発行

(4) 教育委員会から

高校2年生といえば、独り立ちの時期を目前に、独り暮らしへの憧れが芽生えたりおしやれな住まいのコマーシャルに心がはずんだりする頃でしょう。その時期をとらえ、住まい選びには「契約」に絡む様々な課題があることに気づかせ、正しい知識と判断力を身に付けさせることをねらいました。

今後、生活を維持するためには、「住いの環境」「安全性」「生活費」など、さらに現実的な課題があることにも気づかせる、高校3年間を見通した流れとなっています。

(5) 消費生活センターから

住まいの選択には、「生きる力」を育むことを目指して身につけてきた知識を、総合的に活用する力が試されます。住宅の賃貸は、「取り扱う金額が高額であること」、「契約に関して独自にチェックすべき項目が多いこと」、「継続性のある契約であること」「環境など複合的条件があること」などから、トラブルを回避するために相当の慎重さが期待されます。高校生にとっては、進学のために、または新社会人となって、一人暮らしも視野に入ってくることでしょう。自分のための快適な住空間やその契約について学ぶことは、非常に大切なことです。

単 元 名	情報社会を築く “情報化の光と影”	
実 施 校	柏日体高等学校	
学 年 / 教 科 等	第 1 学 年	情報科 (情報C)
指 導 者	布施 裕人	
総 授 業 数	5時間 (本時は1時間目)	

1. 単元について

(1) 設定の理由

高度情報化社会ともいえる今日、情報機器や情報ネットワークが我々の生活に深く入り込んでいる。しかしながら、それらを使用している我々が具体的に情報機器やネットワークがどのように活用されているのかを考えることは少ない。我々の生活に情報化社会が与える影響を考え情報機器やネットワークを適切に使用方法を考えさせたく、今回の単元を設定した。

(2) 目標

- 私たちの生活の中でどのように情報機器が使用されているかを理解する。
- 情報ネットワークが我々の生活にどのような影響を与えたかを考える。
- 情報機器やネットワークを使用した犯罪について、具体例に基づき、予防策がとれるようにする。
- 情報化の光の部分（利点）と影の部分（欠点）をきちんと理解をして、情報化社会に参画する態度を養う。

2. 指導計画

1 節：情報化の光と影

1：流通形態の変化・・・1時間

2：働き方の変化・・・0.5時間

3：コミュニケーション形態の変化・・・0.5時間

2 節：情報化とネットワークのひろがり

1：くらしの中の情報化・・・1時間

2：高度情報化社会と情報システム・・・1時間

3：人間のネットワーク築く・・・1時間

3. 本時

(1) 目標

- 従来の商売方法と電子商取引の違いを理解する。
- 様々な電子商取引のスタイルを理解する。
- 電子商取引に関連する犯罪の問題点を把握する。

(2) 消費者教育の視点

- 直接顔と顔を合わせることなく、取引ができる電子商取引だからこそ、注意しなくてはならない点があることに気づせかる。
- トラブルに巻き込まれた場合、消費者として適切な判断と行動がとれるようにする。

(3) 展開

時配 (分)	指導内容・学習活動	指導上の留意点 (■消費者教育の視点・◎評価)	備考
5	<p><導入></p> <p>★<u>オンラインショッピングやインターネットオークションの経験や興味</u> (Yahoo!ショッピングやYahoo!オークション, 楽天などと言った言葉を聞いたことがあるかどうかを確認しつつ)</p>	<p>■オンラインショッピングやネットオークションが我々にとって非常に身近になりつつあることに気付かせる。</p>	
10	<p><展開1></p> <p>★<u>従来の買い物のスタイル(お店での買い物)とインターネットでの買い物の様子の違い。</u></p> <p>Q u s お店での買い物とインターネット上での買い物の決定的な違いは?</p> <p>A n s 「売り手」と「買い手」の間に「情報ネットワーク」があるかないか? (商品や現金を手渡しで授受しない)</p>	<p>・実際にロールプレイ風にやりとりの流れを見せる。</p> <p>◎電子商取引では「人」と「人」の取引の間に「情報ネットワーク」があることが気づくかどうか?</p>	
10	<p>★<u>ネットワークを利用した商売や取引(電子商取引)</u></p> <p>様々な電子商取引のスタイル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ B t o B (企業間での業務効率化) ・ B t o C (オンラインショッピング等) ・ C t o C (インターネットオークション等) 	<p>■◎電子商取引の特徴や利点を考えることができるか?</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報機器の有無 ・情報機器さえあれば、移動せずに取引できる ・売り手と買い手がある場になくても取引できる。 ・24時間取引可能 	
15	<p><展開2></p> <p>★<u>電子商取引におけるトラブル</u></p> <p>Q u s 2 どんなトラブルが考えられるか</p> <p>A n s 2 ・商品が届かない</p>	<p>■人の顔が見えない電子商取引だからこそ、犯罪やトラブルに巻き込まれやすいことに気付かせる。</p> <p>■サイバー犯罪に巻き込まれない</p>	

5	<ul style="list-style-type: none"> ・商品が見ためと異なる ・過剰に代金を請求される ・不正な商品売買 <p><まとめ></p> <p>★電子商取引における注意点について我々が意識すべきこと.</p>	<p>ためには、買い手の正しい知識と態度が重要であることを理解させる.</p> <p>■主体的な消費者として、正しい行動選択と対応ができるようにならないといけないことに気付かせる.</p>	
---	--	--	--

4. 実践報告

(1) 児童生徒の様子・変容

高校生ともなると、自分が好きに使用できる金額（お小遣い）の上昇やPC操作能力の向上、行動範囲の拡大等もあり、自分の判断でオンラインショッピング等を楽しむ生徒も少なくない。実際に生徒に書いてもらった感想でも、安易に行動に移すことなく、移す前の判断能力が大切であるといった記載もあり、「生徒に気づかせる」といった観点では適当な教材選択ではあったと思われる。

(2) 成果と課題

○ 成果

- 日常生活に情報ネットワークが深く根付いていることに気が付いた.
- 実際に起きうるトラブルを事前に説明を受けることにより、未然に防ぐための方法を考えることができた.
- 「正しい知識」と「適切な判断能力」が大切であるということに気が付いた.

○ 課題

- 安易にオンラインショッピングを避ける傾向からの脱却
⇒オンラインショッピング＝危険という等式は成立しないことを認識させる.
「正しい知識」と「適切な判断能力」の育成につなげる訓練の場（実習）等の模索.

(3) 使用教材・資料等

<教科書・副教材>

- ・実教出版「最新情報C」 平成23年1月 岡本敏夫 ほか著
P132～135
- ・実教出版「事例でわかる情報モラル」 平成21年10月30日
P26～31, 34, 35, 68～71
- ・授業プリント（両面印刷1枚）・・・情報科の授業は実習と自作プリントを主に利用

情報化の光と影

1. 流通形態の変化

Qus1: 通常の買い物(取引)とインターネットを使用した買い物スタイルの決定的な違いは？

Ans1: 売り手と買い手の間に「 **情報ネットワーク** 」が存在するか否か。

インターネットを用いた個人・企業間での商売, 物品の取引き・・・(**電子商取引(EC)**)

企業と企業→(**B to B**)

企業と個人→(**B to C**)・・・いわゆるオンラインショッピング(通信販売)

個人と個人→(**C to C**)・・・いわゆるインターネットオークション

2. ECと私たちの生活

通常の買い物(取引)とECの決定的な違いとは！



Keyword: 「**見えない!**」

★(**実際の商品**)が見えない.

★(**売り手の様子**)が見えない.

★(**商品の動き**)が見えない.

★(**金銭の動き**)が見えない.

通常の買い物をと違った**注意点**が要求される.



「**見えない**」ことを逆手に取った**トラブル**が急増中！

Qus2: どんなトラブルが考えられるか？

Ans2: 色々考えられます.

⊗商品に関するトラブル

◇ (**届かない**)

◇ (**見た目と異なる**)

◇ (**売ってはならない**)

⊗金銭に関するトラブル

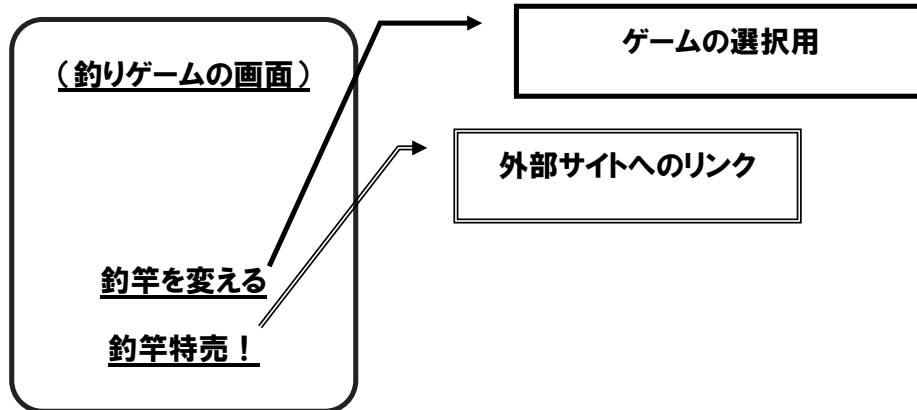
◇ 不当な値段の(**つり上げ**).

◇ (**出品者**)になりすまし, 代金を搾取する

◇ 過大請求・・・利用者本人に原因がある場合もあり! 「 **カード破産** 」

②売り方, 買い方に関するトラブル

消費者に(**誤解**)を与えやすいWebページによる詐欺行為.



3: 主体的な消費者として

Qus3: 消費者側が身につけなくてはならないこと

Ans3: 「 **正しい知識** 」と「 **適切な行動選択** 」

1) 電子消費者契約法

ECにおける消費者の操作ミスの救済や契約成立時期について定めたもの.

ex) ECにおける「**契約成立**」の段階は

- ①商品の個数や数量を入力し, OK等をクリックした段階.
- ②個人情報を入力し, OK等をクリックした段階.
- ③確認画面で情報を確認し, OK等をクリックした段階.
- ④販売側から申込み承諾の通知が買い手側に届いた段階.

正解・・・(**④**)

2) 特定商取引に関する法律

消費者保護のために, 訪問販売や通信販売, 電話勧誘などを行う業者を規制する法律.
決められた事項の内容を掲載したり, 誇大広告の禁止等を定めている.

ex2) ECにおいて, クーリングオフは(**可能** ・ **不可能**)

本日の授業を通して感じたことや気がついたこと

<参考資料> 生徒感想

生徒A

本日の授業を通して感じたことや気がついたこと

最近、ネットの通販で可愛い洋服を見つけて
 買いたいなと思っていたのですが、今日の授業で「オンラインショッピング」
 について詳しく教えてもらって思い留まりました。
 簡単にできるけれど怖いなあと思いました。

生徒B

本日の授業を通して感じたことや気がついたこと

インターネットを通じた買い物は一回だけしたことがある。
 やはり人とおぼろしいの買い物ではないので、すごく不安のある買い物
 だった。今日の授業でも、このことについて詳しく教わったので、
 これからも注意して(インターネットで買いたい物があるときは)買物をしたい。

生徒C

本日の授業を通して感じたことや気がついたこと

正しい知識やちゃんとした行動ができてほしいとトラブルを回避してしまっ
 たりするので、日頃から情報に目を付けてほしいと思った。
 それと、インターネットで見た商品と実際の商品が全く違うことがあること
 だと思った。

生徒D

本日の授業を通して感じたことや気がついたこと

インターネットは簡単だし、ラクだけど、
 「見えない」ものだから、想像と違ふのがよくあります。
 悲しいので、ちゃんと見に行き、買うと良いと思う。

生徒E

本日の授業を通して感じたことや気がついたこと

ネットオークションや通販はすごく便利で使いやすいものだと
 今まで思っていました。今回の授業を通して、様々なトラブルや
 怖さを知りました。便利だからという理由だけで利用を
 するのはとっても怖いことなんだと解りました。
 これから利用するときには今回授業で習ったことを活かして
 気を付けて利用するようにしたいと思います。

生徒の感想を一部掲載。「正しい知識」と「適切な行動選択」の重要性が少しでも
 感じることが出来ていれば、幸いである。あとは、高校生の特徴なのかわからない
 が、女子の関心が非常に高いようであった。

○授業の様子



(4) 教育委員会から

情報の時間に、「情報化の光と影」という単元を組みました。

高校生ともなると、多くの生徒が日常的にオンラインショッピングやネットオークションなどを体験しています。その利点と注意点、実際にあるトラブルなどをしっかり学んだ上で、主体的な消費者として正しい行動選択ができるようになることをねらいました。

避けて通ることのできない情報化社会に飛び込んでいく前に、学習すべきことがたくさんある現代ならではの取り組みです。

(5) 消費生活センターから

本実践は、「契約・取引」「情報」両領域に当たります。「見えない」をキーワードに、インターネットを利用した社会システムについて考えさせており、その中でどのような危険が発生するのかを想像する上で効果を上げていました。先生自身の体験談なども交えたことで、生徒はトラブルを身近な問題として捉えていたようです。

また、契約の基本と法制度にも触れたことで、悪質商法から身を守るという「権利」の面だけではなく、「消費者側の態度と責任」について気付かせており、「公正な取引が得られるように知識を得、行動しよう」という積極的な態度を養う上で、非常に有効でした。

第三章 消費生活センター「子ども消費者教室」

子ども消費者教室

マナブーとまなぼう!

物や情報があふれ、消費の仕方が多様化する今、トラブルを避けるための知識、自分で考え決断する力、より良い社会を作ろうとする態度形成が望まれています。



出前します。

柏市役所 市民生活部 消費生活センター
Tel.04-7163-5853

メニュー

テーマ	対象	内容	講師
 このはちゃんの宝もの 契約・取引	幼児	子どもの頃の消費態度は、大人になってもあまり変わらないものです。まずは、「物を大切に作る気持ち」や「我慢すること」について、紙芝居で楽しく学習します。	柏市消費生活「かたくりの会」連絡協議会
 契約ってなあ〜に 契約・取引	小学生	子どもたちは、おこづかいやお年玉で、お菓子やジュースなどを買います。これは立派な契約です。契約社会で生きていくために、契約の大切さとルールを紙芝居などで楽しく学習します。	柏市消費生活「かたくりの会」連絡協議会
 アメやジュースのきれいな色の正体はなに？ 安全	小学生	食品に使われている着色料は、何のために使われているのか、どんな種類があるのか、体にどんな影響があるのかなどについて、実験や観察を通して学習し、表示の見方についても学習します。	生活クラブ生活協同組合
 知ってる？暮らしのマークって大事だよ 環境 / 安全	小学生	身の回りの製品には様々なマークがついています。マークには、その製品の情報を知らせる重要な役割があります。製品についているマークについて、紙芝居などで楽しく学習します。	柏生活クラブ
 洗たくセミナー 環境 / 安全	小学生	汚れた靴下を、石けんと合成洗剤で洗い比べ、両者の違いや衣服の取り扱い絵表示の見方、洗濯の仕方を学習します。洗濯用洗剤は何かからできているのか、品質表示の見方などについても学習します。	柏市消費生活「かたくりの会」連絡協議会 柏生活クラブ 柏市消費者の会
 知ってる！砂糖のこと 安全	小学生	砂糖（糖分）の取りすぎは良くないといわれています。しかし、糖分は脳の活動を活性化させます。砂糖（糖分）について正しく理解するために、クイズや実験などで楽しく学習します。	柏市消費者の会
 どうしてお金は大事なの？ 契約・取引	小学生	自分で物を選んだり買い物をする機会が増えてくるこの時期に、お金の価値や役割を正しく知り、上手な使い方を身に付けていくことは大切です。学年に応じて寸劇やクイズなどで楽しく学習します。	柏市消費生活センター
 ケータイ・インターネットのトラブルにあわないために！ 情報	中学生	近年、インターネットや携帯電話、金銭に関する若年層のトラブルについての相談が後を絶ちません。情報通信技術の利用に際して必要とされる、危険性の理解や適切な判断力について学習します。	柏市消費生活センター

保育園

幼稚園

小学校

中学校

サークル

出前します。

■この教室は、将来、社会の担い手となる子どもたちの消費者意識を高め、自立した賢い消費者を育てることを目的としています。

■クラス単位での授業、体育館などでの合同授業に対応いたします。

料金
無料



申し込み・お問い合わせ

※実施日の一カ月前までにお申し込みください。

柏市役所 市民生活部 消費生活センター

Tel.04-7163-5853 Fax.04-7164-4327

「どうしてお金は大事なの？」(45分)

ねらい ◎家のお金は、家の人働いて得たものであることに気付き、感謝の気持ちを持つ
◎自分たちの生活を成り立たせている、物やお金を大切に使うこととする気持ちを持つ

時間	指導内容	学習活動	教材
10	○紙芝居「マナブーのお話し」	・紙芝居を見て、学習の目当てを知る	PPT紙芝居
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> マナブー、モ-助、ガー子の仲良し三人組みが公園で遊んでいるうちに、それぞれの「もったいない」行動を発見するお話です </div>			
身の回りの「もったいない」ことを探そう			
15	○どんなことが「もったいない」か ○「もったいない」が良くないわけ ○できることを考えよう	○「もったいないBOX」から、カプセルを取り出し、みんなが宿題で考えてきた「もったいない」ことについて考える ○「もったいない」ことがなぜ良くないのか考えて話し合う 〔引き出したい事柄〕 ・作った人買ってくれた人の気持ちを大切にしていない ・みんなの物(限りある資源)を大切にしていない ・お金を大事にしていない ○自分にできることを考え、発表する	もったいないBOX (宿題で考えた「もったいない」がカプセルに入っている) 絵カード
お家のお金のことを考えよう			
10	○家のお金はどこから来るのか ○毎日の生活で、どんなことにお金を使っているのか ○学校の落とし物箱 ○名前を書いて大切にしよう	○宿題をもとに、家にあるお金がどこから来るか考えて話し合う ○宿題をもとに、毎日快適に生活するためにはどんなお金がかかっているか考えて話し合う ○自分たちの学校の落とし物にはどんな物がどれくらいあるか知る ・落とし物をすると、もう一度同じものを買ってもらわなければならないことや、持ち主の現れない物が無駄になることに気付く	仕事パネル 生活費パネル 落とし物箱 マナブーのお名前シール
まとめ			
10	○今日はどんな勉強をしたか ○お家の人と、「もったいない」について話し合おう	○今日話したことや考えたことを振り返る ○家に帰って、お家の人と、物やお金を大切にすることについてお話をしようとする	

◇事前宿題(もったいないさがし / 裏面 お家の方へ)

「どうしてお金は大事なの？」(45分)

- ねらい ◎ お金には限りがあり、よく考えて使うことが大切だと気付く
 ◎ こづかい帳を使って、自分のお金を管理する方法を知る

時間	指導内容	学習活動	教材
5	○授業の目的を知らせる	・お金に関するクイズを楽しみ関心を高める ・学習の目的を知る	パワーポイント お金クイズ
お家の人の工夫について思い出そう			
10	○生活費の細目 ○家のお金はどこから来るのか ○家の人がしている工夫	・生活費にはどのような物があるか話し合う ・家のお金はどこから来るのか話し合う ・家のお金を大切に使うために、家庭ではどのような工夫をしているか話し合う	生活費パネル
自分のおこづかいを良く考えて使おう			
10	○寸劇「あり子ときり太のおこづかい」 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">あり子ときり太はクラスメイト。ほしい物がいろいろある。今日はこづかい日。それぞれ500円を手にした。きり太は楽しく500円を使うが予定していたノートを買ってしまい、あり子はまず貯金をし、残りのこづかいを計画的に使っているようだ。</div> ○自分のお金の使い方	・寸劇を見て、あり子ときり太、それぞれのお金の使い方について話し合う 〔予想される児童の意見〕 ■あり子 ・買う前に考えている ・こづかい帳をつけている ・貯金している ■きり太 ・何も考えないでお金を使っている ・予定の物が買えなかった ・楽しそう ・自分のこづかいを大切に使うためにはどうしたらよいか考える (プリントに記入して確認する)	寸劇 板書 プリント
こづかい帳をつけてみよう			
15	○マナーのマネーノート ○お家の人と、お金の使い方について話し合おう	・買い物ごっこをしながら、こづかい帳の付け方を練習する ・マネーノート「おうちの方へ」「おうちの人との約束」のページを確認する	マネーノート 商品絵カード
5	○まとめ		

「どうしてお金は大事なの？」(45分)

ねらい ◎ 使えるお金には限りがあることを知り、その使い方に関心を持つ

時間	指導内容	学習活動	教材
5	○センターの役割と、相談事例を紹介する ※大人になり、お金の使い方から借金などのトラブルが起きていることも知らせる	○学習の目当てを知る	パワーポイント プリント
寸劇を見て考えよう			
5	○寸劇「アリとキリギリス」	○アリとキリギリスのお金の使い方に注目し寸劇を見る	寸劇
<p>同じ職場で働くアリとキリギリス。アリは海外旅行のために、こつこつと給料から貯金をしている。一方、キリギリスは先のことなど考えず、給料をもらおうとすぐに使ってしまう。ついに貯金が目標額に達したアリは、海外旅行に行くことにする。その話を聞いたキリギリスは、自分も行きたくなかったが手持ちのお金がない。そこでたまたま目に入った消費者金融から借金をして旅行に同行することにするが、楽しい旅行から帰ってみると借金の返済に悩むことになる。</p>			
10	○二人のお金の使い方を比べよう	○寸劇から考えたことを発表する 〔予想される児童の意見〕 <u>アリ</u> ・考えてお金を使っている ・貯金をしている ・こづかい帳をつけている <u>キリギリス</u> ・欲しい物を無計画に買っている ・貯金していない ・お金を借りて後から困っていた	板書
借金と貯金について考えよう			
10	○借金と利子 ※児童の理解度に配慮する ○上手な貯金の方法 □－○＝△の式に当てはめて考えさせる ※児童の色々な考え方を尊重する ○使える分のお金を良く考えて使おう 〔引き出した事柄〕 ・買いたいものに順番をつける ・がまんすることも必要である ・買わなくても済むよう工夫できないか考える	○30万円借りたキリギリスは、30万円返せば良いのか考える ○上手な貯金の方法について予想し、意見を 出し合う 〔予想される児童の意見〕 ・収入－支出＝貯金 ・収入－貯金＝支出 ○ほしいものがたくさんあるとき、どうすれば 良いか考える	文字カード ・収入 ・支出 ・貯金
マネーのマネーノートを使って、買う前に考える手順を考えよう			
10	○マネーノートを使ってみよう	○マネーノートの使い方を練習する ・ほしい物の整理、商品の選択 ・買うか買わないかの決断	マネーノート
5	○まとめ	○今日の授業を振り返る	

「ケータイ・インターネットのトラブルにあわないために」(50分)

ねらい ◎ 情報通信の利便性ととも、危険性を理解し、その使用にあたっては適切な判断が必要であることに気付く

時間	指導内容	学習活動	教材
5	○消費生活センターとは ○センターが講習を行う理由	・消費生活センターについて知る ・今日の講習のねらいを知る	パワーポイント
トラブルについて考えよう			
10	○架空請求 ○不当請求 ワンクリック請求	・架空請求についての説明を聞く ・覚えのない請求がきたときの対処法を知る ・不当請求についての説明を聞く ・覚えはあるが、不当な請求がきたときの対処法を知る	
20	○出会い系サイト ○交流サイト ・フェイスブック ・ミクシー ・アメンバーブログ など ○フィルタリング ○チェーンメール	・出会い系サイトとは思えないサイトから誘導される例が多いことを知る(懸賞サイト、星占いサイトなど) ・交流サイトの危険性を知る ・個人情報流出の危険性について考える ・ネットの向こう側に、他人の存在を意識する ・フィルタリングの必要性を認識する ・不幸は来ない、自分が止めても特定されない善意を装っていても「迷惑メール」であること、加担すれば自分も加害者であることを理解する ・チェーンメールの転送先を知る	※実例を多用 DVD視聴 (7分)
ケータイの使い方を考えよう			
10	○時間の使い方を考える	・自分や友達の携帯電話の使い方を振り返り時間やお金の無駄がないか考える	
	○ケータイと上手に付き合おう	・今日学んだことを振り返る	
5	○質疑応答	・疑問点や不安な点を解決する	

平成22年度 子ども消費者教室 実績

No.	月日	団体名	内 容 (テーマ)	学年	人数	実施団体
1	5/16(日)	公開教室	知ってる！砂糖のこと	学生	21	柏市消費者の会
2	5/27(木)	手賀東小学校	どうしてお金は大事なの？	3	10	柏市消費生活センター
3	6/ 4(金)	柏第五小学校	どうしてお金は大事なの？	6	127	柏市消費生活センター
4	6/10(木)	高田小学校	どうしてお金は大事なの？	2	98	柏市消費生活センター
5	6/12(土)	逆井小学校	どうしてお金は大事なの？	4 5	64 44	柏市消費生活センター
6	6/19(土)	手賀西小学校	どうしてお金は大事なの？	5~6	16	柏市消費生活センター
7	6/23(水)	柏第六小学校	洗たくセミナー	6	18	柏市石けん利用推進協議会
8	7/ 6(火)	高柳小学校	どうしてお金は大事なの？	4	105	柏市消費生活センター
9	7/ 7(水)	松葉中学校	ケータイ・インターネットのトラブルにあわないために！	2	203	柏市消費生活センター
10	7/14(水)	風早中学校	ケータイ・インターネットのトラブルにあわないために！	1~3	281	柏市消費生活センター
11	7/14(水)	光ヶ丘小学校	洗たくセミナー	6	69	柏市石けん利用推進協議会
12	7/15(木)		洗たくセミナー		66	
13	7/15(木)	田中北小学校	どうしてお金は大事なの？	1~2	28	柏市消費生活センター
14	7/16(金)	高柳小学校	どうしてお金は大事なの？	6	136	柏市消費生活センター
15	7/20(火)	西原保育園	紙芝居「このはちゃんの宝もの」	3~5歳児	90	柏市消費生活「かたくりの会」連絡協議会
16	7/22(木)	酒井根保育園	紙芝居「このはちゃんの宝もの」	3~5歳児	140	柏市消費生活「かたくりの会」連絡協議会
17	8/21(土)	公開教室	知ってる？くらしのマークって大事だよ	学生	14	柏生活クラブ
18	8/23(月)	若葉保育園	紙芝居「このはちゃんの宝もの」	3~5歳児	78	柏市消費生活「かたくりの会」連絡協議会
19	10/13(水)	光ヶ丘小学校	どうしてお金は大事なの？	2 3 4	148 149 131	柏市消費生活センター
20	10/14(木)	光ヶ丘小学校	どうしてお金は大事なの？	6	137	柏市消費生活センター
21	10/13(水)	藤心小学校	知ってる！砂糖のこと	2	64	柏市消費者の会
22	10/21(木)	大津ヶ丘幼稚園	紙芝居「このはちゃんの宝もの」	5歳児	70	柏市消費生活「かたくりの会」連絡協議会
23	11/11(木)	大津ヶ丘幼稚園	紙芝居「このはちゃんの宝もの」	3~4歳児	116	柏市消費生活「かたくりの会」連絡協議会
24	11/17(水)	旭東小学校	どうしてお金は大事なの？	4	50	柏市消費生活センター
25	11/24(水)	大津ヶ丘第二小学校	どうしてお金は大事なの？	4	84	柏市消費生活センター
26	12/ 3(金)	大津ヶ丘第二小学校	どうしてお金は大事なの？	3	50	柏市消費生活センター
27	1/14(金)	旭東小学校	どうしてお金は大事なの？	6	65	柏市消費生活センター
28	1/20(木)	名戸ヶ谷小学校	どうしてお金は大事なの？	1 2	44	柏市消費生活センター
29	2/28(月)	十余二小学校	どうしてお金は大事なの？	3	98	柏市消費生活センター
30	3/ 9(水)	柏第四中学校	ケータイ・インターネットのトラブルにあわないために！	3	140	柏市消費生活センター

■実施回数：61回 ■受講人数：3,056人

平成23年度 子ども消費者教室 実績

No.	月日	受講者(団体名)	内 容(テーマ)	学年	人数	実施団体
1	5/15(日)	公開教室	知ってる!砂糖のこと	その他	21	柏市消費者の会
2	6/11(土)	逆井小学校	どうしてお金は大事なの?	1	78	消費生活センター
3	6/14(火)	逆井小学校	どうしてお金は大事なの?	3	65	消費生活センター
4	6/17(金)	柏第一小学校	どうしてお金は大事なの?	6	190	消費生活センター
5	6/20(月)	中原小学校	洗たくセミナー	6	76	消費生活「かたくりの会」連絡協議会
	6/21(火)	中原小学校	洗たくセミナー	6	74	柏生活クラブ
6	6/25(土)	高田小学校	どうしてお金は大事なの?	2	109	消費生活センター
7	7/1(金)	酒井根西小学校	どうしてお金は大事なの?	6	53	消費生活センター
8	7/5(火)	手賀西小学校	洗たくセミナー	6	15	柏市消費者の会
9	7/6(水)	土小学校	洗たくセミナー	6	63	消費生活「かたくりの会」連絡協議会
10	7/8(金)	柏第八小学校	どうしてお金は大事なの?	3	116	消費生活センター
11	7/11(月)	土小学校	どうしてお金は大事なの?	2	75	消費生活センター
12	7/12(火)	土小学校	知ってる?くらしのマークって大事だよ	6	63	柏生活クラブ
13	7/13(水)	土小学校	どうしてお金は大事なの?	6	63	消費生活センター
14	7/15(金)	田中北小学校	洗たくセミナー	6	19	柏市消費者の会
15	9/21(水)	増尾西小学校	どうしてお金は大事なの?	6	101	消費生活センター
16	9/28(水)	藤心小学校	洗たくセミナー	6	75	柏生活クラブ
17	10/6(木)	柏中学校	ケータイ・インターネットのトラブルにあわないために!	1-3	680	消費生活センター
18	10/12(水)	光ヶ丘小学校	どうしてお金は大事なの?	2	111	消費生活センター
19	10/13(木)	藤心小学校	どうしてお金は大事なの?	6	75	消費生活センター
20	12/14(水)	逆井中学校	ケータイ・インターネットのトラブルにあわないために!	1-3	530	消費生活センター
21	12/20(火)	逆井小学校	どうしてお金は大事なの?	4	62	消費生活センター
22	1/17(火)	大津ヶ丘第一小学校	どうしてお金は大事なの?	4	77	消費生活センター
23	1/19(木)	名戸ヶ谷小学校	どうしてお金は大事なの?	1	42	消費生活センター
24	1/19(木)	名戸ヶ谷小学校	どうしてお金は大事なの?	2	45	消費生活センター
25	1/20(水)	柏第一小学校	どうしてお金は大事なの?	4	147	消費生活センター
26	1/25(水)	大津ヶ丘第一小学校	どうしてお金は大事なの?	6	80	消費生活センター
27	2/8(水)	大津ヶ丘第一小学校	どうしてお金は大事なの?	5	70	消費生活センター
28	2/16(木)	高柳西小学校	どうしてお金は大事なの?	5	85	消費生活センター
29	2/21(火)	高柳西小学校	どうしてお金は大事なの?	5	-	消費生活センター

■実施授業数：58回 ■受講人数：3,260人

消費者教育実践事例集 Ⅲ

発行 2012年3月
柏市役所市民生活部
柏市消費生活センター



